

平成 2 8 年度

決算に係る主要な施策の成果の説明書

相楽郡広域事務組合

平成 2 8 年度決算に係る主要な施策の成果の説明

地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 2 9 2 条において準用する同法第 2 3 3 条第 5 項の規定により、平成 2 8 年度相楽郡広域事務組合の「決算に係る会計年度における主要な施策の成果を説明する書類」を、次のとおり提出する。

平成 2 9 年 1 1 月 2 7 日提出

相楽郡広域事務組合
代表理事 木 村 要

1 決算の総括

平成 28 年度相楽郡広域事務組合一般会計及び平成 28 年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計の決算総括は、第 1 表のとおりである。

第 1 表 決算総括の状況

（単位：円、％）

区 分		平成 2 8 年度	平成 2 7 年度	増 減 額	増 減 率
歳 入 決 算 額 A	一般会計	355,611,811	384,700,669	△29,088,858	△7.6
	特別会計	25,600,422	18,607,456	6,992,966	37.6
	合 計	381,212,233	403,308,125	△22,095,892	△5.5
歳 出 決 算 額 B	一般会計	353,436,201	382,347,309	△28,911,108	△7.6
	特別会計	22,756,577	16,763,822	5,992,755	35.7
	合 計	376,192,778	399,111,131	△22,918,353	5.7
歳入歳出差引額 C	一般会計	2,175,610	2,353,360	△177,750	△7.6
	特別会計	2,843,845	1,843,634	1,000,211	54.2
	合 計	5,019,455	4,196,994	822,461	19.6
翌年度へ繰り越すべき財源 D		0	0	0	0.0
実 質 収 支 額 E (C－D)		5,019,455	4,196,994	822,461	19.6
前 年 度 実 質 収 支 額 F		4,196,994	2,420,716	1,776,278	73.4
単 年 度 収 支 額 G (E－F)		822,461	1,776,278	△953,817	△53.7

一般会計では、歳入総額 355,611,811 円に対し、歳出総額 353,436,201 円となり、歳入歳出差引額並びに実質収支額は 2,175,610 円で黒字決算となった。

一般会計決算総額の前年度との比較では、歳入が 29,088,858 円 7.6％の減少、歳出が 28,911,108 円 7.6％の減少であり、詳細は後述するが、大き

くは大谷処理場建設の起債償還が前年度で終了したことによるものである。

また、特別会計にあっても、歳入総額 25,600,422 円に対し、歳出総額 22,756,577 円となり、歳入歳出差引額並びに実質収支額は 2,843,845 円で、両会計とも黒字決算で終えることができた。

特別会計決算総額の前年度との比較では、歳入が 6,992,966 円 37.6%の増加、歳出が 5,992,755 円 35.7%の増加であり、大きくは相楽地区ふるさと市町村圏振興事業基金運用益が増加したことによるものである。

2 一般会計の概要

(1) 歳入の概要

一般会計歳入決算の款別の内訳と前年度との比較は、第2表のとおりである。なお、主要な項目における詳しい内訳などは、7ページに記載している。

第2表 一般会計歳入決算の状況（款別）

（単位：円、％）

区 分	平成28年度		平成27年度		増 減 額	増減率
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比		
分担金及び負担金	328,920,592	92.5	358,728,245	93.2	△ 29,807,653	△ 8.3
使用料及び手数料	17,267,910	4.8	17,905,030	4.7	△ 637,120	△ 3.6
府 支 出 金	7,002,000	2.0	7,054,000	1.8	△ 52,000	△ 0.7
繰 越 金	2,353,360	0.7	768,928	0.2	1,584,432	206.1
諸 収 入	67,949	0.0	244,466	0.1	△ 176,517	△ 72.2
歳 入 合 計	355,611,811	100.0	384,700,669	100.0	△ 29,088,858	△ 7.6

歳入総額は 355,611,811 円で、主要なものは、分担金及び負担金 328,920,592 円（構成比 92.5％）、使用料及び手数料 17,267,910 円（同 4.8％）、府支出金 7,002,000 円（同 2.0％）の順である。

これらの前年度との比較における要因は、まず分担金及び負担金は、うち分担金での大谷処理場起債償還にかかる処理場更新公債費分の分担金が償還終了に伴い前年度より 25,895,000 円減少したのを主因として、大谷処理場運転維持管理業務の減、大谷処理場長寿命化総合計画策定業務、PCB廃棄物の収集運搬及び処分等による分担金の増などにより、分担金全体で 29,807,653 円減少した。

これに加えて、し尿の収集運搬にかかる負担金は、平成27年10月からの手数料改定による増加はあったものの、し尿処理搬入量の減少に伴い 640,240 円減少したことから、分担金及び負担金全体で前年度より 29,807,653 円 8.3％の減少となった。

次に、使用料及び手数料は、浄化槽汚泥投入手数料の減少や一般廃棄物処

理業等許可手数料や使用料での相楽会館使用料の増加もあったが、全体で前年度より 637,120 円 3.6%減少した。なお、一般廃棄物処理業許可の更新は 2 年ごと（手数料収入も 2 年ごと）である。

府支出金は、全額が相楽消費生活センターに係る京都府消費者行政活性化事業費補助金であるが、相談員等のスキルアップのための研修参加にかかる補助率が 10/10 から 1/2 に変更になったことなどにより、府補助金も前年度より 52,000 円 0.7%減少した。

なお、この補助金は、消費生活センターの当初設立と一定期間の運営を支援することを趣旨とする有期的補助金であることから、既存事業である相談員人件費及び消費者啓発事業分については、平成 29 年度において廃止される予定である。

これらの要因の結果、歳入総額で前年度より 29,088,858 円 7.6%減少した。

(2) 歳出の概要

一般会計歳出決算の款別の内訳と前年度との比較は、第 3 表のとおりである。

なお、主要な項目における詳しい内訳などを 8 ページに記載しているとともに、事務事業ごとでの決算概要を 12 ページから 23 ページにかけて記載している。

第 3 表 一般会計歳出決算の状況（款別）

（単位：円、％）

区 分	平成 2 8 年度		平成 2 7 年度		増 減 額	増減率
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比		
議 会 費	376,165	0.1	362,872	0.1	13,293	3.7
総 務 費	37,028,476	10.5	36,128,179	9.4	900,297	2.5
衛 生 費	307,551,820	87.0	311,437,503	81.5	△ 3,885,683	△ 1.2
商 工 費	8,479,740	2.4	8,524,595	2.2	△ 44,855	△ 0.5
公 債 費	0	0.0	25,894,160	6.8	△ 25,894,160	皆減
歳 出 合 計	353,436,201	100.0	382,347,309	100.0	△ 28,911,108	△ 7.6

歳出総額は 353,436,201 円で、主要なものは、衛生費 307,551,820 円（構成比 87.0%）、総務費 37,028,476 円（同 10.5%）、商工費 8,479,740 円（同 2.4%）の順である。

これらの前年度との比較における要因は、まず衛生費は、うち保健衛生費での休日応急診療所運営に対する特別会計繰出金が、受診者数の変動などの

要因で、保健衛生費で前年度より 461,000 円増加した。なお、繰出金は、構成市町村の分担金から共通経費（人件費など）分を控除した部分である。

これに加えて、うち清掃費でのし尿処理搬入量は減少しており、し尿収集運搬委託料は減少するとともに、平成 33 年度を目標年度とする大谷処理場基幹的設備改良工事の実施に向けた大谷処理場長寿命化総合計画の策定をはじめ、P C B 廃棄物の収集運搬及び処分費が増加となったものの、清掃費で前年度より 4,346,683 円減少し、衛生費全体では前年度より 3,885,683 円 1.2%減少となった。なお、し尿処理搬入量は、19 年連続で減少している。

次に、公債費は、歳入の分担金と同様に、大谷処理場起債償還で平成 12 年度起債の償還が終了したことに伴い、前年度より 25,894,160 円、皆減となった。なお、大谷処理場の起債償還は、平成 27 年度ですべて終了している。

総務費は、事務局体制に変更はなかったものの、財務 4 表作成のための公会計支援業務委託料の増などにより、前年度より 900,297 円 2.5%の増加となった。

商工費は、京都府消費者行政活性化補助金の補助率の変更に伴う、相談員等の研修参加の減をはじめ、本センターの P R 用啓発資材の作成費の増などで、前年度より 44,855 円 0.5%の減少となった。

これらの要因の結果、歳出総額で前年度より 28,911,108 円 7.6%減少した。

なお、歳出予算額に対する執行率は、99.5%である。

3 特別会計の概要

(1) 歳入の概要

特別会計歳入決算の款別の内訳と前年度との比較は、第 4 表のとおりである。なお、主要な項目における詳しい内訳などは、9 ページに記載している。

第 4 表 特別会計歳入決算の状況（款別）

（単位：円、%）

区 分	平成 2 8 年度		平成 2 7 年度		増 減 額	増減率
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比		
財 産 収 入	7,395,439	28.9	2,359,590	12.7	5,035,849	213.4
休日応急診療所収入	16,358,983	63.9	14,593,931	78.4	1,765,052	12.1
繰 越 金	1,843,634	7.2	1,651,788	8.9	191,846	11.6
諸 収 入	2,366	0.0	2,147	0.0	219	10.2
歳 入 合 計	25,600,422	100.0	18,607,456	100.0	6,992,966	37.6

歳入総額は 25,600,422 円で、休日応急診療所収入 16,358,983 円（構成比 63.9%）、

財産収入 7,395,439 円（同 28.9％）、繰越金 1,843,634 円（同 7.2％）の順である。

これらの前年度との比較における要因は、まず休日応急診療所収入は、うち繰入金で一般会計歳出の衛生費・保健衛生費の変動要因と同様に、休日応急診療所運営に対する一般会計からの繰入金が、受診者数の微増などにより、繰入金で前年度より 461,000 円 5.0％増加した。

これに対し、うち診療報酬収入で年末から年度末にかけての疾病動向などに伴い、前年度より 1,304,052 円増加したことで、休日応急診療所収入全体では前年度より 1,765,052 円 12.1％の増加となった。なお、休日応急診療所における 1 日当たりの受診者数は、平成 27 年度の 11.5 人から平成 28 年度は 11.7 人となった。

次に、財産収入は、ふるさと市町村圏振興事業基金の元本分 7 億円分については、平成 23 年度末（平成 24 年 3 月 30 日）から京都銀行木津支店の自由金利型定期預金（期間 5 年間、平成 29 年 3 月 30 日満期、利率年 0.48％、中間利払率 70％）で運用し、平成 29 年 3 月 30 日で満期を迎えた。中間利払率 70％による利息収入の 30％分は満期日に一括支払いとなることから、受取利息が 7,394,762 円となり、余剰分基金の受取利息 677 円を加え、前年度より 5,035,849 円 213.4％の増加となった。

繰越金は、全体で前年度より 191,846 円 11.6％の増加となった。

(2) 歳出の概要

特別会計歳出決算の款別の内訳と前年度との比較は、第 5 表のとおりである。

なお、主要な項目における詳しい内訳などを 10 ページに記載しているとともに、事務事業ごとの決算概要を 24 ページから 27 ページにかけて記載している。

第 5 表 特別会計歳出決算の状況（項目別）

（単位：円、％）

区 分	平成 28 年度		平成 27 年度		増 減 額	増減率
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比		
振 興 総 務 費	7,255,000	31.9	2,222,000	13.2	5,033,000	226.5
事 業 費	145,800	0.6	145,800	0.9	0	0.0
休日応急診療費	15,355,777	67.5	14,396,022	85.9	959,755	6.7
歳 出 合 計	22,756,577	100.0	16,763,822	100.0	5,992,755	35.7

歳出総額は 22,756,577 円で、相楽休日応急診療費 15,355,777 円（構成比 67.5％）、振興総務費 7,255,000 円（同 31.9％）、事業費 145,800 円（同 0.6％）の

順である。

これらの前年度との比較における要因は、まず休日応急診療費は、疾病動向などに伴う受診者の変動による医薬材料費の増加などで、前年度より 959,755 円 6.7%の増加となった。

次に、振興総務費は、ふるさと市町村圏振興事業基金の運用益を振興事業に充当した残額を今後の事業充当等に備え基金積立て（積み増し、7,255,000 円）したため、前年度より 5,033,000 円 226.5%の増加となった。なお、これに伴い平成 28 年度末における基金残高は、714,100,000 円である。

事業費は、前年度と同額となった。

これらの要因の結果、歳出総額で前年度より 5,992,755 円 35.7%増加した。なお、歳出予算額に対する執行率は、96.4%である。

一方、特別会計設置の目的である、ふるさと市町村圏振興事業の平成 28 年度実績は 48 ページに記載のとおりであるが、その概要は次のとおりである。

①ホームページの管理運営

新着情報による情報発信

②第 24 回相楽の文化を創るつどいの開催

（経費執行ではなく事務的応援協力）

平成 29 年 2 月 12 日（日）開催

精華町立体育館・コミュニティセンター「むくのきセンター」

第 1 部：消費生活講座（振り込め詐欺撲滅ミュージカル「魔法にかけられた 4 人の美女たち」特定非営利活動法人発起人シニアミュージカル劇団、相楽消費生活センター消費生活相談員 鳴尾 嘉久）

第 2 部：圏域内の文化サークル発表会の開催（10 団体、88 人出演）

③ふるさと市町村圏振興事業基金積立

運用益余剰分 7,255 千円の積み増し

④休日応急診療所の運営

診療日数 70 日、受診者数 818 人

平成28年度 相楽郡広域事務組合一般会計決算の概要

1. 歳 入

単位：円

区 分	平成29年度		平成28年度		平成27年度		H28-H27比較	
	当初予算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
	(A)	(%)	(B)	(%)	(C)	(%)	(B) - (C)	(%)
分担金及び負担金	331,118,000	92.9	328,920,592	92.5	358,728,245	93.2	△ 29,807,653	△ 8.3
分担金	260,709,000	73.2	254,436,448	71.5	283,603,861	73.7	△ 29,167,413	△ 10.3
負担金	70,409,000	19.7	74,484,144	21.0	75,124,384	19.6	△ 640,240	△ 0.9
使用料及び手数料	16,789,000	4.8	17,267,910	4.8	17,905,030	4.7	△ 637,120	△ 3.6
使用料	200,000	0.1	215,510	0.1	242,250	0.1	△ 26,740	△ 11.0
会館使用料	200,000	0.1	215,510	0.1	242,250	0.1	△ 26,740	△ 11.0
手数料	16,589,000	4.7	17,052,400	4.7	17,662,780	4.6	△ 610,380	△ 3.5
衛生手数料	16,589,000	4.7	17,052,400	4.7	17,662,780	4.6	△ 610,380	△ 3.5
浄化槽汚泥投入手数料	16,589,000	4.7	16,912,400	4.7	17,662,780	4.6	△ 750,380	△ 4.2
浄化槽・一般廃棄物処理業許可手数料	0	0.0	140,000	0.1	0	0.0	140,000	皆増
府支出金	8,062,000	2.3	7,002,000	2.0	7,054,000	1.8	△ 52,000	△ 0.7
府補助金	8,062,000	2.3	7,002,000	2.0	7,054,000	1.8	△ 52,000	△ 0.7
繰越金	1,000	0.0	2,353,360	0.7	768,928	0.2	1,584,432	206.1
繰越金	1,000	0.0	2,353,360	0.7	768,928	0.2	1,584,432	206.1
諸収入	30,000	0.0	67,949	0.0	244,466	0.1	△ 176,517	△ 72.2
預金利子	10,000	0.0	429	0.0	12,036	0.0	△ 11,607	△ 96.4
雑入	20,000	0.0	67,520	0.0	232,430	0.1	△ 164,910	△ 71.0
歳 入 合 計	356,000,000	100.0	355,611,811	100.0	384,700,669	100.0	△ 29,088,858	△ 7.6

2. 歳 出

単位：円

年 度 区 分	平成29年度		平成28年度		平成27年度		H28-H27比較	
	当初予算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
	(A)	(%)	(B)	(%)	(C)	(%)	(B)－(C)	(%)
議会費	426,000	0.1	376,165	0.1	362,872	0.1	13,293	3.7
議会費	426,000	0.1	376,165	0.1	362,872	0.1	13,293	3.7
総務費	37,883,000	10.7	37,028,476	10.5	36,128,179	9.4	900,297	2.5
総務管理費	37,854,000	10.7	37,004,016	10.5	36,104,402	9.4	899,614	2.5
理事会費	281,000	0.1	269,040	0.1	269,040	0.1	0	0.0
一般管理費	34,803,000	9.8	34,666,679	9.8	32,617,694	8.5	2,048,985	6.3
相楽会館費	2,738,000	0.8	2,036,577	0.6	3,185,948	0.7	△ 1,149,371	△ 36.1
公平委員会費	32,000	0.0	31,720	0.0	31,720	0.0	0	0.0
監査委員費	29,000	0.0	24,460	0.0	23,777	0.0	683	2.9
衛生費	306,029,000	85.9	307,551,820	87.0	311,437,503	81.5	△ 3,885,683	△ 1.2
保健衛生費	12,067,000	3.4	9,682,000	2.7	9,221,000	2.4	461,000	5.0
清掃費	293,962,000	82.5	297,869,820	84.2	302,216,503	79.0	△ 4,346,683	△ 1.4
し尿処理費	293,962,000	82.5	297,869,820	84.2	302,216,503	79.0	△ 4,346,683	△ 1.4
共済費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
賃金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
旅費	47,000	0.0	46,540	0.0	82,960	0.0	△ 36,420	△ 43.9
需用費	0	0.0	0	0.0	474,660	0.1	△ 474,660	皆減
役務費	365,000	0.1	364,620	0.1	364,620	0.1	0	0.0
委託料	290,594,000	81.6	297,350,212	84.1	301,055,940	78.7	△ 3,705,728	△ 1.2
大谷処理場運転維持管理業務（通常分）	202,537,000	56.9	200,766,600	56.8	208,946,520	54.6	△ 8,179,920	△ 3.9
大谷処理場運転維持管理業務（緊急分）	5,000,000	1.4	4,820,320	1.4	0	0.0	4,820,320	皆増
し尿収集運搬業務	70,409,000	19.8	74,484,144	21.1	80,538,192	21.1	△ 6,054,048	△ 7.5
水質・大気分析業務	1,100,000	0.3	968,436	0.3	904,608	0.2	63,828	7.1
清掃汚泥処分業務	7,020,000	2.0	7,020,000	2.0	6,476,652	1.7	543,348	8.4
焼却灰運搬業務	527,000	0.1	526,176	0.1	526,176	0.1	0	0.0
焼却灰埋立業務	327,000	0.1	344,736	0.1	326,592	0.1	18,144	5.6
循環型社会形成推進地域計画・精密機能検査	3,674,000	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
生活排水処理基本計画策定業務	0	0.0	0	0.0	1,663,200	0.4	△ 1,663,200	皆減
修繕工事見積精査業務	0	0.0	0	0.0	1,674,000	0.4	△ 1,674,000	皆減
長寿命化総合計画策定業務	0	0.0	6,966,000	2.0	0	0.0	6,966,000	皆増
P C B 運搬業務	0	0.0	199,800	0.1	0	0.0	199,800	皆増
P C B 処分業務	0	0.0	1,229,000	0.3	0	0.0	1,229,000	皆増
トラックスケール法定点検	0	0.0	25,000	0.0	0	0.0	25,000	皆増
負担金・補助及び交付金	2,858,000	0.8	22,000	0.0	26,000	0.0	△ 4,000	△ 15.4
償還金利子及び割引料	98,000	0.0	86,448	0.0	212,323	0.1	△ 125,875	△ 59.3
商工費	10,727,000	3.0	8,479,740	2.4	8,524,595	2.2	△ 44,855	△ 0.5
商工費	10,727,000	3.0	8,479,740	2.4	8,524,595	2.2	△ 44,855	△ 0.5
公債費	0	0.0	0	0.0	25,894,160	6.8	△ 25,894,160	皆減
公債費	0	0.0	0	0.0	25,894,160	6.8	△ 25,894,160	皆減
元金	0	0.0	0	0.0	25,586,711	6.7	△ 25,586,711	皆減
利子	0	0.0	0	0.0	307,449	0.1	△ 307,449	皆減
予備費	935,000	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
予備費	935,000	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳 出 合 計	356,000,000	100.0	353,436,201	100.0	382,347,309	100.0	△ 28,911,108	△ 7.6

平成28年度 相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計決算の概要

1. 歳 入

単位：円

区 分	平成29年度		平成28年度		平成27年度		H28-H27比較	
	当初予算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
	(A)	(%)	(B)	(%)	(C)	(%)	(B) - (C)	(%)
財産収入	281,000	1.6	7,395,439	28.9	2,359,590	12.7	5,035,849	213.4
財産運用収入	281,000	1.6	7,395,439	28.9	2,359,590	12.7	5,035,849	213.4
利子及び配当金	281,000	1.6	7,395,439	28.9	2,359,590	12.7	5,035,849	213.4
休日応急診療所収入	16,757,000	98.3	16,358,983	63.9	14,593,931	78.4	1,765,052	12.1
診療報酬収入	4,690,000	27.5	6,676,983	26.1	5,372,931	28.9	1,304,052	24.3
繰入金	12,067,000	70.8	9,682,000	37.8	9,221,000	49.5	461,000	5.0
一般会計繰入金	12,067,000	70.8	9,682,000	37.8	9,221,000	49.5	461,000	5.0
繰越金	10,000	0.1	1,843,634	7.2	1,651,788	8.9	191,846	11.6
繰越金	10,000	0.1	1,843,634	7.2	1,651,788	8.9	191,846	11.6
繰越金	10,000	0.1	1,843,634	7.2	1,651,788	8.9	191,846	11.6
諸収入	2,000	0.0	2,366	0.0	2,147	0.0	219	10.2
預金利子	1,000	0.0	126	0.0	1,147	0.0	△ 1,021	△ 89.0
預金利子	1,000	0.0	126	0.0	1,147	0.0	△ 1,021	△ 89.0
雑入	1,000	0.0	2,240	0.0	1,000	0.0	1,240	124.0
雑入	1,000	0.0	2,240	0.0	1,000	0.0	1,240	124.0
歳 入 合 計	17,050,000	100.0	25,600,422	100.0	18,607,456	100.0	6,992,966	37.6

2. 歳 出

単位：円

年 度 区 分	平成29年度		平成28年度		平成27年度		H28-H27比較	
	当初予算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
	(A)	(%)	(B)	(%)	(C)	(%)	(B) - (C)	(%)
振興費	293,000	1.7	7,400,800	32.5	2,367,800	14.1	5,033,000	212.6
振興費	293,000	1.7	7,400,800	32.5	2,367,800	14.1	5,033,000	212.6
振興総務費	50,000	0.3	7,255,000	31.9	2,222,000	13.2	5,033,000	226.5
事業費	243,000	1.4	145,800	0.6	145,800	0.9	0	0.0
衛生費	16,757,000	98.3	15,355,777	67.5	14,396,022	85.9	959,755	6.7
衛生費	16,757,000	98.3	15,355,777	67.5	14,396,022	85.9	959,755	6.7
休日応急診療費	16,080,000	94.3	15,355,777	67.5	14,396,022	85.9	959,755	6.7
休日応急診療費予備費	677,000	4.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳 出 合 計	17,050,000	100.0	22,756,577	100.0	16,763,822	100.0	5,992,755	35.7

平成 2 7 ・ 2 8 年度 市町村分担金一覧表（決算額）

単位:千円、%

種別 市町村名	広 域 圏				休日応急診療所				相 楽 会 館			
	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増 減 額 (C)	増 減 率 (C)/(B)× 100	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増 減 額 (C)	増 減 率 (C)/(B)× 100	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増 減 額 (C)	増 減 率 (C)/(B)× 100
木津川市	342	302	40	13. 2	7, 806	7, 299	507	6. 9	1, 192	1, 797	△ 605	△ 33. 7
笠 置 町	342	301	41	13. 6	1, 439	1, 505	△ 66	△ 4. 4	482	473	9	1. 9
和 束 町	342	301	41	13. 6	1, 673	1, 647	26	1. 6	508	525	△ 17	△ 3. 2
精 華 町	342	301	41	13. 6	4, 124	3, 933	191	4. 9	832	1, 136	△ 304	△ 26. 8
南山城村	341	302	39	12. 9	1, 521	1, 594	△ 73	△ 4. 6	496	499	△ 3	△ 0. 6
合 計	1, 709	1, 507	202	13. 4	16, 563	15, 978	585	3. 7	3, 510	4, 430	△ 920	△ 20. 8
種別 市町村名	し 尿 処 理				し尿処理（特例（収支不足）分）				し尿処理（特例（ただし書差額）分）			
	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増 減 額 (C)	増 減 率 (C)/(B)× 100	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増 減 額 (C)	増 減 率 (C)/(B)× 100	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増 減 額 (C)	増 減 率 (C)/(B)× 100
木津川市	122, 109	120, 917	1, 192	1. 0	72	131	△ 59	△ 45. 0	0	2, 853	△ 2, 853	皆減
笠 置 町	17, 377	17, 089	288	1. 7	0	4	△ 4	皆減	0	672	△ 672	皆減
和 束 町	25, 632	26, 375	△ 743	△ 2. 8	4	10	△ 6	△ 60. 0	0	788	△ 788	皆減
精 華 町	35, 211	35, 307	△ 96	△ 0. 3	10	31	△ 21	△ 67. 7	0	571	△ 571	皆減
南山城村	23, 658	22, 225	1, 433	6. 4	0	0	0	0. 0	0	530	△ 530	皆減
合 計	223, 987	221, 913	2, 074	0. 9	86	176	△ 90	△ 51. 1	0	5, 414	△ 5, 414	皆減
種別 市町村名	消 費 生 活				処理場更新公債費				合 計			
	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増 減 額 (C)	増 減 率 (C)/(B)× 100	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増 減 額 (C)	増 減 率 (C)/(B)× 100	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増 減 額 (C)	増 減 率 (C)/(B)× 100
木津川市	2, 017	1, 896	121	6. 4	0	13, 374	△ 13, 374	皆減	133, 538	148, 569	△ 15, 031	△ 10. 1
笠 置 町	1, 581	1, 550	31	2. 0	0	1, 674	△ 1, 674	皆減	21, 221	23, 268	△ 2, 047	△ 8. 8
和 束 町	1, 598	1, 564	34	2. 2	0	3, 012	△ 3, 012	皆減	29, 757	34, 222	△ 4, 465	△ 13. 0
精 華 町	1, 796	1, 724	72	4. 2	0	5, 991	△ 5, 991	皆減	42, 315	48, 994	△ 6, 679	△ 13. 6
南山城村	1, 590	1, 557	33	2. 1	0	1, 844	△ 1, 844	皆減	27, 606	28, 551	△ 945	△ 3. 3
合 計	8, 582	8, 291	291	3. 5	0	25, 895	△ 25, 895	皆減	254, 437	283, 604	△ 29, 167	△ 10. 3

各事業の概要説明

(※資料に記載の金額は、千円未満を四捨五入して表示しているため、
合計欄において端数が一致しない場合がある。)

一 般 会 計

款項目	1 議会費		1 議会費		1 議会費	
事務区分	規約第3条各号共通事務					
事業名	議会運営費				決算書説明頁	9～10
事業費 決算額 の概要 〈千円〉	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額	予算区分	現年
	426	0	0	426		
	決算額	国庫支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源
	376	0	0	0	0	376
	前年度決算額	増減額	臨時的経費	経常的経費		
	363	13	0	363		
主な 特定財源 の内訳	種 別	特 定 財 源 名 称				財源充当金額〈千円〉
事業決算概要	・ 地方自治法第292条において準用する同法第89条に基づく組合の議会として、議員及び議会活動を保障するため、法律・条例・規則等に定められた議会運営にかかる経費を執行 ・ 議員定数:14人(木津川市5人、笠置町2人、和束町2人、精華町3人、南山城村2人) ・ 選出方法:構成市町村議会で議会議員のうちから選挙により選出 ・ 任期:構成市町村議会の議員任期 ・ 報酬(年額):議長36,000円、副議長30,000円、議員24,000円 ・ 開会:定例会2回(平成28年11月21日、平成29年2月20日)、議会運営委員会2回(平成28年11月4日、平成29年2月6日) ※平成27年度開会:定例会2回、臨時会1回、議会運営委員会2回 (報酬353、旅費18、交際費5)					
事業の成果	・ 地方自治法第284条に基づく一部事務組合として組合格約に定められた共同処理事務の議決機関として、執行機関から提案された延べ11議案を審議し、全てを議了し、円滑な組合運営を進めた。					
課題・問題点	・ 議員任期が構成市町村議会の議員任期のためまちまちであることから、構成市町村の議員構成変更の度に組合議会構成の調整が必要である。					
改善案等	・ 構成市町村議会議長の申し合わせ(平成21年8月3日)により、一般的な議会構成変更は2年ごと(次回平成31年5月)とされていることから、構成市町村議会の議員構成変更予定を十分に把握し、組合議会構成の諸調整が一定事前に行えるように進める。 ・ その他の議会運営に関して、構成市町村の議会運営を参考にしながらさらなる円滑な運営ができるよう進めていく。					
事業費 の推移 〈千円〉		H26(実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29(予算)	
	事業費	371	363	376	426	
	うち一財充当	371	363	376	426	

款項目	2 総務費			1 総務管理費		1 理事会費	
事務区分	規約第3条各号共通事務						
事業名	理事会運営費					決算書説明頁	9～10
事業費 決算額 の概要 〈千円〉	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額	予算区分	現年	
	280	0	0	280			
	決算額	国庫支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源	
	269	0	0	0	0	269	
	前年度決算額	増減額	臨時的経費	経常的経費			
	269	0	0	269			
主な 特定財源 の内訳	種 別	特 定 財 源 名 称				財源充当金額〈千円〉	
事業決算概要	・地方自治法第287条の3第2項に基づく規約第8条に規定の理事会として、組合運営の方針等を審議するための運営にかかる経費を執行 ・理事:5人(木津川市長、笠置町長、和束町長、精華町長、南山城村長) ・代表理事:理事の互選により選出(精華町長)、理事申し合わせにより任期2年(現在平成27年10月27日～平成29年10月26日) ・任期:市町村長の任期 ・開催:定例理事会は年6回(4月18日・8月22日・10月24日・11月21日・1月23日・2月20日)、本圏域における広域的課題解決のため新年度京都府予算編成にかかる京都府知事等への要望活動1回(10月12日) ・報酬(年額):代表理事60,000円、理事48,000円×4人 ※平成27年度開催:定例理事会5回、要望活動1回(平成27年10月1日) (報酬252、旅費17)						
事業の成果	・組合規約第8条に基づく理事会として、本組合の運営方針を決定する機関として年6回の理事会を開催し、諸課題に対する方針を決定し円滑な組合運営を進めた。これには、企画主管課長で構成の広域圏幹事会において事前に審議し、理事会での意思決定が円滑に進む仕組みにより実施した。(平成25年度から) ・本圏域の広域的課題解決のための要望活動を京都府知事、山城広域振興局長に行った。						
課題・問題点	・理事会の活動を整理するため開催回数を平成25年度から年6回(以前は年8回)に減じたが、このうち2回は組合議会定例会開会前の開催であることから、十分な協議が必要な案件や緊急を要する場合などは臨時開催の必要がある。						
改善案等	・平成25年度で整理した広域圏幹事会の機能と役割に鑑み、構成市町村と十分に連携を図ることとで、重要案件や緊急案件などの処理の円滑化を継続していく。 ・その他、理事会における組合の運営方針決定が円滑に進むような工夫の検討を進めていく。						
事業費 の推移 〈千円〉		H26(実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29(予算)		
	事業費	268	269	269	281		
	うち一財充当	268	269	269	281		

款項目	2 総務費			1 総務管理費		2 一般管理費	
事務区分	規約第3条各号共通事務						
事業名	事務局運営共通費					決算書説明頁	9～12
事業費 決算額 の概要 〈千円〉	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額	予算区分	現年	
	35,967	△ 185	△ 65	35,717			
	決算額	国庫支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源	
	34,662	0	0	0	68	34,594	
	前年度決算額	増減額	臨時的経費	経常的経費			
	32,613	2,049	0	34,662			
主な 特定財源 の内訳	種 別	特 定 財 源 名 称				財源充当金額〈千円〉	
	その他	市町村職員等共同研修派遣経費助成金				15	
	その他	財務会計ソフト使用料				48	
	その他	コピー機使用料				5	
事業決算概要	・規約第11条に規定の事務局として、組合が共同処理する事務の推進にかかる一般事務経費を執行 ・職員体制:4人(一般職員3人、臨時職員1人) ・情報公開・個人情報保護審査会(委員5人):開催なし ・組合事務局として各種組合業務を統括管理し推進 ・開催:予算説明会は年1回(1月16日) (給料11,899、職員手当等10,628、共済費4,218、賃金1,106、旅費76、交際費16、需用費2,208、役務費510、委託料2,869、使用料768、備品購入費360、負担金3)						
事業の成果	・理事会での運営方針決定を受けて、組合が共同処理する各種業務を円滑に推進することができた。 ・具体的な業務推進にあたっては、事務局だけでなく広域圏幹事会を筆頭に、必要に応じた業務ごとの構成市町村担当課長会議を開催することで共同処理事務の諸調整を図り、円滑な運営に資することができた。						
課題・問題点	・共同処理業務のすべてで何らかの課題を抱えているため、これの解決に向け、まずは構成市町村の意向などを踏まえながら、整理の方向性を検討していく必要がある。						
改善案等	・広域圏幹事会を筆頭として必要に応じた担当課長会議の開催を効率効果的に行い、各種課題の解決に向けた検討・調整のさらなる円滑化をめざす。						
事業費 の推移 〈千円〉		H26(実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29(予算)		
	事業費	30,449	32,613	34,661	34,798		
	うち一財充当	30,104	32,381	34,593	34,798		

款項目	2 総務費		1 総務管理費		2 一般管理費	
事務区分	規約第3条第1号 広域市町村圏事務					
事業名	広域市町村圏経費				決算書説明頁	11～12
事業費 決算額 の概要 〈千円〉	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額	予算区分	現年
	5	0	0	5		
	決算額	国庫支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源
	5	0	0	0	0	5
	前年度決算額	増減額	臨時的経費	経常的経費		
	5	0	0	5		
主な 特定財源 の内訳	種 別	特 定 財 源 名 称				財源充当金額〈千円〉
事業決算 概要	・昭和47年に指定を受けた相楽地区広域市町村圏(広域行政圏、ふるさと市町村圏へと継承、平成20年度末制度廃止)として、広域連携の推進にかかる事務経費を執行 ・広域行政圏整備推進協議会への加入を通じた広域連携のための情報収集等 ・規約第11条第5項の幹事会により広域連携の検討・実施等(関係経費は事務局共通経費で計上執行) ・具体的な広域連携事業の実施は特別会計で計上執行 ・開催:幹事会は年4回(4月14日・8月16日・10月18日・1月11日・1月19日) ・第66回“社会を明るくする運動”相楽地区大会打合せ(6月3日)、同推進委員会(6月8日)、同大会(6月25日) (負担金5)					
事業の 成果	・広域行政圏整備推進協議会への継続加入により、広域連携のための情報収集や意見交換などが行えた。 ・具体的な広域圏運営は、広域圏幹事会の開催により各種事業実施の検討や調整が行われ、その円滑実施が図れた。					
課題・ 問題点	・広域圏の位置付けが、平成20年度末の国の要綱廃止により、それまでの国の施策に基づく包括的な広域連携の推進から、情勢の変化や地区の事情に応じた自主的な広域連携の推進に変化していることから、平成29年度末の第2次相楽地区ふるさと市町村圏計画の計画期間満了に向けて今後のあり方を検討し、方針を決定する必要がある。					
改善案等	・広域圏幹事会を中心に、今後のあり方を検討し、理事会において方針を決定する必要がある。					
事業費 の推移 〈千円〉		H26(実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29(予算)	
	事業費	5	5	5	5	
	うち一財充当	5	5	5	5	

款項目	2 総務費		1 総務管理費		3 相楽会館費	
事務区分	規約第3条第3号 相楽会館施設事務					
事業名	相楽会館管理運営経費				決算書説明頁	11～12
事業費 決算額 の概要 〈千円〉	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額	予算区分	現年
	1, 973	0	65	2, 038		
	決算額	国庫支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源
	2, 037	0	0	0	216	1, 821
	前年度決算額	増減額	臨時的経費	経常的経費		
	3, 186	△ 1, 149	99	1, 938		
主な 特定財源 の内訳	種 別	特 定 財 源 名 称			財源充当金額〈千円〉	
	その他	相楽会館使用料			216	
事業決算 概要	・相楽地区広域市町村圏による広域連携の一環として、住民の福祉の増進と生活の維持向上を図るため、昭和50年に設置した福祉センター相楽会館の運営経費を執行 ・福祉センター相楽会館:鉄筋コンクリート造2階建、延895㎡、昭和50年8月設置開館 ・地方自治法第244条第1項の公の施設として、管理部門を除き貸館(貸室)により運営(行政目的(行政施設)への転用により現在は2階大ホール(収容400人)のみの貸館) ・使用料:(施設)午前6,000円、午後8,000円、夜間8,000円、終日:22,000円、(設備)冷房10分の3.5、暖房10分の2.5の加算 ・備品購入:ワイヤレスマイク及びデスクスタンド(大ホール用) ・施設利用:26件、2,274人、使用料215,510円 ※平成27年度利用:33件、3,113人、使用料242,250円 (需用費598、役務費37、委託料1,303、備品購入99)					
事業の 成果	・2階大ホール用ワイヤレスマイク及びデスクスタンド購入したことにより、会館利用者(使用者)への利便性が向上した。 ・その他、会館目的に沿った利用(使用)が図れた。					
課題・ 問題点	・今後の会館運営(貸室)に関し、「相楽会館の今後のあり方について」(平成18年度)及び「相楽会館の広域的な観点からの利活用について」(平成19年度)として検討を行い、必要最小限の経費で現状の貸館業務を続けていく方針を決定しているが、現状では大ホールだけの貸室となり、平成28年度において改めて広域圏幹事会において協議がなされた。理事会において、「貸館業務は現状のまま継続するが、照明は舞台を中心に設定されているものであることを利用者にも理解していただくこととし、使用料収入が見込めない中で客席部分の照度を上げる投資は必要ないこと、また今後も最小のコストで運営していく。」と今後の方針を決定した。					
改善案等	・会館の今後のあり方については、平成28年度において、最小のコストで運営していくこととしたが、会館の貸室運営だけにとどまらず、他の共同処理業務としての室使用など組合の体制にも関わる重要事項であることから、理事会をはじめ広域圏幹事会で十分な議論を継続していく。					
事業費 の推移 〈千円〉		H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(予算)	
	事業費	3,046	3,186	2,037	2,738	
	うち一財充当	2,689	2,944	1,821	2,538	

款項目	2 総務費			1 総務管理費		4 公平委員会費	
事務区分	規約第3条各号共通事務						
事業名	公平委員会運営費					決算書説明頁	11～12
事業費 決算額 の概要 〈千円〉	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額	予算区分	現年	
	32	0	0	32			
	決算額	国庫支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源	
	32	0	0	0	0	32	
	前年度決算額	増減額	臨時的経費	経常的経費			
	32	0	0	32			
主な 特定財源 の内訳	種 別	特 定 財 源 名 称				財源充当金額〈千円〉	
事業決算 概要	・ 地方自治法第292条において準用する同法第180条の5第1項第3号に基づく組合の公平委員会として、その運営にかかる経費を執行 ・ 公平委員会委員:3人 ・ 選出:地方公務員法第9条の2第2項により組合議会の同意を得て代表理事が選任 ・ 任期:4年 ・ 報酬(年額):委員長9,600円、委員7,200円×2人 ・ 開催:1回(平成29年3月13日) ※平成27年度開催:1回(平成28年3月11日) (報酬24、旅費8)						
事業の 成果	・ 公平委員会の定期的な開催により、職員体制の状況及び職員の勤務条件の改正内容等について、情報把握が図れた。						
課題・ 問題点	・ 職員からの不服申し立てや苦情処理に対する講じるべき措置について、迅速な対応が可能なよう、平素から調査研究を進めることが必要である。 ・ 具体的な案件が生じた場合に、職員数の現状からは事務局となるべき職員が利害関係人ともなる可能性が高く、公平公正な事務執行に支障を来たす可能性がある。						
改善案等	・ 今後も継続して、委員会の円滑な運営や調査研究を継続していく。 ・ 現状では事務局体制の改善は非常に困難なため、他の委員会等での体制も含めた共同設置等の抜本的な改善方法を検討していく。						
事業費 の推移 〈千円〉		H26(実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29(予算)		
	事業費	31	32	32	32		
	うち一財充当	31	32	32	32		

款項目	2 総務費		2 監査委員費		1 監査委員費	
事務区分	規約第3条各号共通事務					
事業名	監査委員運営費				決算書説明頁	11～12
事業費 決算額 の概要 〈千円〉	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額	予算区分	現年
	28	0	0	28		
	決算額	国庫支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源
	24	0	0	0	0	24
	前年度決算額	増減額	臨時的経費	経常的経費		
	24	1	0	24		
主な 特定財源 の内訳	種 別	特 定 財 源 名 称				財源充当金額〈千円〉
事業決算 概要	・ 地方自治法第292条において準用する同法第180条の5第1項第4号に基づく組合の監査委員として、その運営にかかる経費を執行 ・ 監査委員:2人(識見を有する者1人、議員のうちから1人) ・ 選出:地方自治法第196条第1項により組合議会の同意を得て代表理事が選任 ・ 任期:識見を有する者4年、議員は議員の任期(仲北悦雄氏を引き続き選任(平成29年5月26日から)) ・ 報酬(年額):識見を有する者12,000円、議員9,600円 ・ 決算審査:地方自治法第233条第2項により平成28年10月11日に実施 ・ 例月出納検査:地方自治法第235条第1項により毎月実施(書類検査) ※平成26年度監査:決算審査(平成27年10月6日)、例月出納検査(毎月実施) (報酬21、旅費3)					
事業の 成果	・例月出納検査及び決算審査を適正に実施した。					
課題・ 問題点	・ より充実した監査事務の執行のためには、監査委員事務局体制の確立と監査機能の充実を図る必要がある。 ・ 特に、事務局となるべき職員が監査の対象となる予算執行側の職員を兼ねていることから、適正な監査業務の推進に支障が生じる可能性を内在している。					
改善案等	・ 今後も構成市町村における監査事務の取り組み等の情報収集に努め、円滑な監査事務の執行に努めるとともに、他の委員会等と同様に事務局体制の抜本的な改善方法を検討していく。 ・ 監査委員による職務遂行を通じて、監査委員制度の趣旨である組合業務が法令に準拠して行われ、不当を排除し、効果的・合理的・能率的な事務事業の執行をめざす。					
事業費 の推移 〈千円〉		H26(実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29(予算)	
	事業費	24	24	28	29	
	うち一財充当	24	24	28	29	

款項目	3 衛生費		1 保健衛生費		1 休日応急診療費	
事務区分	規約第3条第2号エ 休日応急診療所事務					
事業名	休日応急診療所運営経費				決算書説明頁	11～12
事業費 決算額 の概要 〈千円〉	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額	予算区分	現年
	12,515	△ 2,833	0	9,682		
	決算額	国庫支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源
	9,682	0	0	0	0	9,682
	前年度決算額	増減額	臨時的経費	経常的経費		
	9,221	461	0	9,682		
主な 特定財源 の内訳	種 別	特 定 財 源 名 称				財源充当金額〈千円〉
事業決算 概要	・広域市町村圏に基づく広域的事業のうち、相楽休日応急診療所の設置及び管理運営に関する事業として、相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計で実施する事業への一般会計からの繰出金を執行 ・特別会計における診療所の運営経費から診療報酬収入を差し引いた収支不足額を繰出し(予算措置や診療報酬収入の動向を考慮し一定の余剰分を含む) ・繰出金は分担金として共通経費分を含め全額を構成市町村が負担 (繰出金9,682)					
事業の 成果	・特別会計における診療所運営経費の不足財源額を繰出しすることで、休日応急診療所の円滑な運営と特別会計の収支確保が図れた。					
課題・ 問題点	・一部発生する余剰金分を除き一般会計からの繰出金は、休日応急診療所事業での赤字補てんであることから、診療所利用の促進を図り事業の収支改善をめざすことで構成市町村の負担(分担金)軽減を引き続き図っていく必要がある。					
改善案等	・休日応急診療所の利用促進のため、組合や構成市町村の広報やホームページでのお知らせを充実させるとともに、関係機関のイベントとも連携しながら啓発資材を配布するなどの住民周知を継続していく。					
事業費 の推移 〈千円〉		H26(実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29(予算)	
	事業費	7,974	9,221	9,682	12,067	
	うち一財充当	7,974	9,221	9,682	12,067	

款項目	3 衛生費		2 清掃費		1 し尿処理費	
事務区分	規約第3条第4号 し尿処理施設事務、第5号 一般廃棄物処理業許可事務					
事業名	し尿収集処理経費				決算書説明頁	13～16
事業費 決算額 の概要 〈千円〉	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額	予算区分	現年
	86,936	△ 4,827	0	82,109		
	決算額	国庫支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源
	74,571	0	0	0	74,484	87
	前年度決算額	増減額	臨時的経費	経常的経費		
	81,225	△ 6,654	87	74,484		
主な 特定財源 の内訳	種 別	特 定 財 源 名 称			財源充当金額〈千円〉	
	その他	し尿処理手数料負担金			74,484	
事業決算 概要	・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく一般廃棄物のうちし尿に関し、同法第6条の2第2項に基づく収集及び運搬の委託にかかる経費を執行 ・ 浄化槽清掃業及び一般廃棄物処理業の許可:7者(㈱クリーンサービス山城、(株)相楽清掃、(有)フシミ、相楽商事、大和清掃、城南衛生(株)、平安衛生開発(株)) ・ し尿収集運搬の委託:5者(㈱クリーンサービス山城、(株)相楽清掃、(有)フシミ、相楽商事、大和清掃) ・ し尿処理手数料:126円/10ℓ(平成27年10月～) ・ し尿収集委託料:126円/10ℓ(平成27年4月～) ・ 対象人口:し尿収集6,692人、浄化槽清掃11,994人(平成28年度末現在) ※平成27年度末対象人口:し尿収集7,078人、浄化槽清掃12,577人 ・ 収集運搬(搬入)量:し尿5,911.44kℓ、浄化槽汚泥8,456.20kℓ、計14,367.64kℓ ※平成27年度収集量:し尿6,391.92kℓ、浄化槽汚泥8,831.39kℓ、計15,223.13kℓ ・ 不用し尿くみ取り券の返還(還付):平成23年3月までに売捌いたし尿くみ取り券(組合券)で不用分の返還(還付)の事務を構成市町村に委託、86,448円 ・ 開催:課長会議は年4回(4月11日・12月20日・1月12日・3月9日)、し尿収集運搬業務に係る業者ヒアリング(7月22日・26日) (委託料74,484、償還金87)					
事業の 成果	・ 圏域内の非水洗家庭におけるし尿を収集し、大谷処理場へ搬入処理することで生活環境の衛生管理に大きく寄与した。 ・ また、浄化槽設置家庭における浄化槽清掃汚泥も同様に収集処理を図ることで、浄化槽の適正な管理を通じた生活環境の衛生管理に寄与した。					
課題・ 問題点	・ 圏域内での下水道事業進捗で年々水洗化家庭への転換が進み、非水洗でのし尿収集の減少が続き収集運搬業務の非効率化が進んでいる。 ・ 収集運搬の非効率化と相まって、業務委託料は平成20年10月の改正から6年半が経過したことを受け、平成27年4月に126円/10ℓに改定したが、次期の消費税率改定(平成31年10月予定)への対応検討も必要である。					
改善案等	・ 収集量の減少に伴う効率的な収集体制を構築するための検討を進めていくとともに、当面、委託料を平成27年4月から10ℓ当たり126円に、手数料も平成27年10月から同額に改定した。 ・ 今後も構成市町村と連携・調整しながら、適正な単価設定を委託業者とも引き続き協議を進めていく。					
事業費 の推移 〈千円〉		H26(実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29(予算)	
	事業費	78,935	81,225	74,571	70,507	
	うち一財充当	208	6,101	87	98	

款項目	3 衛生費		2 清掃費		1 し尿処理費	
事務区分	規約第3条第4号 し尿処理施設事務、第5号 一般廃棄物処理業許可事務					
事業名	大谷処理場（し尿処理施設）運営経費				決算書説明頁	13～16
事業費 決算額 の概要 〈千円〉	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額	予算区分	現年
	228,406	△ 6,691	0	221,715		
	決算額	国庫支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源
	223,299	0	0	0	17,052	206,247
	前年度決算額	増減額	臨時的経費	経常的経費		
	220,991	2,308	12	223,287		
主な 特定財源 の内訳	種 別	特 定 財 源 名 称				財源充当金額〈千円〉
	その他	浄化槽汚泥投入手数料				16,912
	〃	浄化槽清掃業許可手数料				70
	〃	一般廃棄物処理業（収集運搬）許可手数料				70
事業決算概要	・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく一般廃棄物のうちし尿に関し、同法第6条の2第1項に基づく処分として、大谷処理場の運営にかかる経費を執行 ・ し尿処理施設：大谷処理場（中間処理施設）、処理能力76k1/日、施設運転維持管理は全面委託（委託先：京都南部環境事業協同組合） ・ 最終処分：焼却灰は大阪湾広域臨海環境整備センター（大阪府）へ運搬埋立処分（12台、38 t）、清掃汚泥は八光海運（株）堆肥化施設（熊本県上天草市）へ運搬処分（100 t） ・ 焼却灰最終処分のため大阪湾広域臨海環境整備センターの大阪湾フェニックス計画に参画し、建設負担金（12千円）を支出 ・ 施設各種分析検査：水質分析は放流水を年24回（全項目12回、全窒素・全りん12回）、生し尿・浄化槽汚泥を年4回、大気分析はダイオキシン類を年1回、作業環境を年2回それぞれ実施 ・ 検査結果：すべて基準値以内で異常なし ・ 長寿命化計画策定（報告書100部、概要版300部） ・ 開催：大谷処理場維持管理報告会12回（4月20日・5月24日・6月16日・7月20日・8月19日・9月20日・10月19日・11月15日・12月21日・1月18日・2月16日・3月15日） （旅費46、役務費365、委託料222,866、負担金22）					
事業の成果	・ 圏域内の非水洗家庭から収集したし尿及び浄化槽設置家庭から収集した浄化槽清掃汚泥を、大谷処理場で搬入処理することで住民の生活環境の衛生管理に大きく寄与した。					
課題・問題点	・ 平成13年の大谷処理場更新稼働開始から平成27年度末で15年が経過し、施設設備の老朽化が進んでいることから、このまま推移すると処理能力の低下が予測される。 ・ 構成市町村の関係計画からはし尿処理施設は今後とも必要不可欠な施設であるため、適切な規模や機能についての施設の存続維持が必要である。					
改善案等	・ 法に基づく精密機能検査による現状把握や長寿命化に向けた施設整備構想及び生活排水処理基本計画の策定を踏まるとともに、長寿命化総合計画の策定により、今後における具体的な整備計画の検討を進めていく。 ・ 今後の安定的な施設運営のため、運転経費の効率化と施設管理体制の適正化をめざし長期包括委託の導入検討を引き続き進めていく。					
事業費 の推移 〈千円〉		H26（実績）	H27（実績）	H28（実績）	H29（予算）	
	事業費	207,214	220,991	223,820	223,455	
	うち一財充当	190,309	203,328	206,557	206,866	

款項目	4 商工費		1 商工費		1 商工総務費	
事務区分	規約第3条第6号 消費生活センター事務					
事業名	消費生活センター運営経費				決算書説明頁	15～16
事業費 決算額 の概要 〈千円〉	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額	予算区分	現年
	10, 052	△ 1, 349	0	8, 703		
	決算額	国庫支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源
	8, 480	0	7, 002	0	0	1, 478
	前年度決算額	増減額	臨時的経費	経常的経費		
	8, 525	△ 45	0	8, 480		
主な 特定財源 の内訳	種 別	特 定 財 源 名 称			財源充当金額〈千円〉	
	府支出金	消費者行政活性化事業費補助金			7, 002	
事業決算 概要	・消費者安全法第10条第2項に基づく相楽消費生活センターの設置運営にかかる経費を執行 ・職員(相談)体制:嘱託職員(消費生活相談員)3人(週3日勤務) ・相談対応:来庁や電話などにより対応、毎週月～金曜日(祝日除く)9時～16時、相談件数611件 ・啓発事業:センター主催の消費生活講座の開催(4回、延102人参加)、圏域内団体等開催の会合等への消費生活出前講座の実施(12団体233人)、山城地域消費生活リレー講座の開催(2回、延60人参加) ※平成27年度実施:相談件数611件、消費生活講座4回・計84人参加、消費生活出前講座17団体409人 ・各市町村催(祭)事へのブース出展や消費者クイズ(5回) ・消防フェアへのブース出展(1回) ・消費者被害の未然防止に係る各市町村広報紙への記事掲載及び本組合ホームページでの情報発信(毎月依頼) ・開催:課長会議は年3回(4月12日・10月17日・1月12日) (報酬5,292、職員手当等491、共済費351、報償費30、旅費180、需用費1,715、役務費279、使用料133、負担金9)					
事業の 成果	・主体業務である相談対応を中心としながら、相談事案に発展しないための取り組みとして各種の啓発事業(消費生活講座、消費生活出前講座)などを実施し、圏域住民の消費者被害への対応や未然防止に寄与した。					
課題・ 問題点	・消費生活での問題が複雑多様化しているため、これに対応していけるような関係機関との連携や相談員のスキルアップなどを引き続き進めていく必要がある。 ・一方、京都府からの補助金がなくなっていく可能性が高いため、構成市町村負担の軽減に向けたさらなる効率効果的な運営体制の検討も引き続き必要である。					
改善案等	・京都府をはじめ府内の市町村消費生活行政担当課長(担当者)と連携を強化していくとともに、機会を捉えて関係機関の研修会への参加を継続していく。 ・京都府からの補助金廃止見込みに対しては、新規事業への取組による補助金を獲得することができるよう、構成市町村と協議しながら運営計画を策定するとともに、さらなる効率効果的な運営体制の検討を継続していく。					
事業費 の推移 〈千円〉		H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(予算)	
	事業費	7, 649	8, 525	8, 480	10, 727	
	うち一財充当	1, 071	1, 471	1, 478	2, 665	

款項目	5 予備費			1 予備費		1 予備費	
事務区分							
事業名	予備費					決算書 説明頁	15～16
事業費 決算額 の概要 〈千円〉	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額	予算区分	現年	
	1,192	△ 992	0	200			
	決算額	国庫支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源	
	0	0	0	0	0	0	
	前年度決算額	増減額	臨時的経費	経常的経費			
	0	0	0	0			
主な 特定財源 の内訳	種 別	特 定 財 源 名 称				財源充当金額〈千円〉	
事業決算 概要	・ 地方自治法第217条の予算外の支出又は予算超過の支出に充てるための予備費を執行(充用) ・ 予備費として必要とした経費に充用						
事業の 成果	・ 比較的軽易な内容や緊急を要する対応において適時適切に充用することで、円滑な予算執行が図れた。						
課題・ 問題点	・ 予備費としての適正な計上額に明確な基準がないため、さらなる精査が必要である。						
改善案等	・ 充用の実績や類似団体等を参考としながら検討を進める。						
事業費 の推移 〈千円〉		H26(実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29(予算)		
	事業費	0	0	0	935		
	うち一財充当	0	0	0	935		

相楽地区ふるさと市町村圏 振興事業特別会計

款項目	1 振興費		1 振興費		1 振興総務費	
事務区分	規約第3条第2号ア～ウ及びオ～ケのうちふるさと市町村圏事務					
事業名	ふるさと市町村圏振興事業運営経費				決算書説明頁	9～10
事業費 決算額 の概要 〈千円〉	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額	予算区分	現年
	7, 246	9	0	7, 255		
	決算額	国庫支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源
	7, 255	0	0	0	0	7, 255
	前年度決算額	増減額	臨時的経費	経常的経費		
	2, 222	5, 033	7, 255	0		
主な 特定財源 の内訳	種 別	特 定 財 源 名 称			財源充当金額〈千円〉	
		(相楽地区ふるさと市町村圏振興事業基金運用益)			(7, 255)	
事業決算 概要	・ 広域市町村圏に基づく広域的事業のうち、相楽休日応急診療所を除く各種事業の推進にかかる総括的な事務経費を執行 ・ ふるさと市町村圏推進要綱(平成11年改正自治省要綱、平成20年度末廃止)による第2次相楽地区ふるさと市町村圏計画(平成20年5月策定)に基づく各種振興事業を、ふるさと市町村圏振興事業基金7億円の運用益を用いて実施するにあたり、その推進にかかる総括的事務経費(事務管理)として執行 ・ 基金運用益を各種振興事業に充当した残額を、今後の事業充当等に備え基金積立て(積み増し):積立金7, 255, 000円 (積立金7, 255)					
事業の 成果	・ ふるさと市町村圏事業の推進にかかる事務管理を適切に行い、その円滑な運営に資した。 ・ 基金運用益の余剰分を基金に積み増しすることで、今後の事業充当等での円滑化が向上した。					
課題・ 問題点	・ 現在の第2次相楽地区ふるさと市町村圏計画が平成29年度までであるとともに、基金の運用としての定期預金が平成29年度末満期であることから、平成29年度には広域圏幹事会により今後のあり方を検討し、理事会において方針を決定する必要がある。					
改善案等	・ ふるさと市町村圏振興事業のあり方をはじめ、基金の運用方法について、広域圏幹事会を中心に、今後のあり方の検討をし、理事会において方針を決定する。					
事業費 の推移 〈千円〉		H26(実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29(予算)	
	事業費	1, 389	2, 222	7, 255	50	
	うち一財充当	1, 389	2, 222	7, 255	50	

款項目	1 振興費		1 振興費		2 事業費	
事務区分	規約第3条第2号ア～ウ及びオ～ケのうちふるさと市町村圏事務					
事業名	ふるさと市町村圏振興事業運営経費				決算書説明頁	9～10
事業費 決算額 の概要 〈千円〉	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額	予算区分	現年
	146	0	0	146		
	決算額	国庫支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源
	146	0	0	0	0	146
	前年度決算額	増減額	臨時的経費	経常的経費		
	146	0	0	146		
主な 特定財源 の内訳	種 別	特 定 財 源 名 称			財源充当金額〈千円〉	
		(相楽地区ふるさと市町村圏振興事業基金運用益)			(146)	
事業決算 概要	・ 広域市町村圏に基づく広域的事業のうち、相楽休日応急診療所を除く各種事業の推進にかかわる事業経費を執行 ・ ふるさと市町村圏推進要綱(平成11年改正自治省要綱、平成20年度末廃止)による第2次相楽地区ふるさと市町村圏計画(平成20年5月策定)に基づく各種振興事業を、ふるさと市町村圏振興事業基金の運用益を用いて実施 ・ ホームページ管理運営 (委託料146)					
事業の 成果	・ ホームページの活用による圏域の情報発信を積極的に行った。					
課題・ 問題点	・ 現在の第2次相楽地区ふるさと市町村圏計画が平成29年度までであるとともに、基金の運用としての定期預金が平成28年度末満期であることから、平成29年度には広域圏幹事会により今後のあり方を検討し、理事会において方針を決定する必要がある。					
改善案等	・ ふるさと市町村圏振興事業のあり方をはじめ、基金の運用方法について、広域圏幹事会を中心に、今後のあり方の検討をし、理事会において方針を決定する。					
事業費 の推移 〈千円〉		H26(実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29(予算)	
	事業費	146	146	146	243	
	うち一財充当	146	146	146	243	

款項目	2 衛生費		1 衛生費		2 休日応急診療費	
事務区分	規約第3条第2号エの休日応急診療所事務					
事業名	休日応急診療所運営経費				決算書説明頁	9～12
事業費 決算額 の概要 〈千円〉	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額	予算区分	現年
	16, 114	0	0	16, 114		
	決算額	国庫支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源
	15, 356	0	0	0	6, 677	8, 679
	前年度決算額	増減額	臨時的経費	経常的経費		
	14, 396	960	0	15, 356		
主な 特定財源 の内訳	種 別	特 定 財 源 名 称			財源充当金額〈千円〉	
	その他	診療報酬収入			6, 677	
事業決算概要	・ 広域市町村圏に基づく広域的事業のうち、相楽休日応急診療所の運営にかかる経費を執行 ・ 相楽休日応急診療所:医療法第1条の5第2項の診療所として平成24年6月1日相楽会館内に設置 ・ 施設:診察室2室(処置室兼用)、待合室、受付・薬局 ・ 診療:内科・小児科、日・祝・振替休日・年末年始(12月31日～1月3日)計70日、9時～13時 ・ 体制:医師1名(一般社団法人相楽医師会出務医師数26人より)、薬剤師1名(医療法人社団医聖会出務薬剤師数12人より)、看護師1名(組合臨時職員16人より)、医療事務1名(年末年始のみ2名)(民間委託)、会館管理事務1名(組合臨時職員) ・ 開催:課長会議は年1回(1月13日)、相楽休日応急診療所運営委員会(委員12人)は年2回(5月28日・12月15日) ・ 二次後送病院:京都山城総合医療センター ・ 受診者数:818人(内科388人、小児科430人、1日平均11.7人) ※平成27年度受診者数:807人(内科326人、小児科481人、1日平均11.5人) (賃金2,074、報償費4,200、需用費2,410、役務費368、委託料6,220、備品購入費18、負担金66)					
事業の成果	・ 日、祝、年末年始における一次救急医療の受け皿として、罹患により不安を抱える圏域住民の安心・安全に大きく寄与した。					
課題・問題点	・ 受診者が増加するインフルエンザ流行期やゴールデンウィークの時期における医療体制の充実の検討が必要である。 ・ 構成市町村の負担(分担金)軽減に向け、受診者増に向けた診療所のさらなる住民周知を関係機関と連携しながら進める必要がある。 ・ 一方、各市町村の健康づくり事業と連携しながら進めることも必要である。					
改善案等	・ 医療体制の充実はもとより診療所の運営には医師会などの関係機関の協力が不可欠なため、連携や協議を深めて運営の円滑化に努めていく。 ・ 住民周知に関しては、構成市町村や関係機関のイベントなどとも連携し、広報誌やホームページでの広報や啓発資材の配布なども行い、診療所利用の周知を図っていく。					
事業費 の推移 〈千円〉		H26(実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29(予算)	
	事業費	16, 104	14, 396	15, 356	16, 080	
	うち一財充当	8, 492	9, 023	8, 679	11, 390	

款項目	2 衛生費		1 衛生費		2 休日応急診療費予備費	
事務区分	規約第3条第2号エの休日応急診療所事務					
事業名	休日応急診療所運営予備費				決算書説明頁	11～12
事業費決算額の概要<千円>	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額	予算区分	現年
	1,094	△ 1,000	0	94		
	決算額	国庫支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源
	0	0	0	0	0	0
	前年度決算額	増減額	臨時的経費	経常的経費		
	0	0	0	0		
主な特定財源の内訳	種 別	特 定 財 源 名 称				財源充当金額<千円>
事業決算概要	・ 広域市町村圏に基づく広域的事業のうち、相楽休日応急診療所の運営にかかる経費に対する、地方自治法第217条の予算外の支出又は予算超過の支出に充てるための予備費として執行 ・ 休日応急診療所の経費に対しては、特別会計条例において地方自治法第218条第4項の弾力条項(業務量の増加により業務のため直接必要な経費に不足を生じたときは、当該業務量の増加により増加する収入に相当する金額を当該経費に使用することができる)を適用しているが、一定の経費の不足に対応できるよう予備費を計上					
事業の成果	・ 比較的軽易な内容や緊急を要する対応において適時適切に充用することで、円滑な予算執行と運営が図れた。					
課題・問題点	・ 予備費としての適正な計上額に明確な基準がないことや弾力条項の適用の面も考慮しながらの、さらなる精査が必要である。					
改善案等	・ 充用の実績や類似団体等を参考としながら検討を進める。					
事業費の推移<千円>		H26(実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29(予算)	
	事業費	0	0	0	677	
	うち一財充当	0	0	0	677	

資 料 編

福祉センター相楽会館月別利用・収入状況(平成27・平成28年度)

(単位：件、人、円)

区 分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成28年度	全額徴収	件数	0	0	2	1	0	0	2	2	1	2	0	3	13
		人数	0	0	300	100	0	0	300	110	80	150	0	230	1,270
		金額	0	0	37,800	12,960	0	0	8,000	14,000	24,000	10,000	10,000	40,000	156,760
	1/2減免	件数	0	0	1	1	2	0	0	2	0	0	1	0	7
		人数	0	0	100	300	20	0	0	350	0	0	100	0	870
		金額	0	0	0	14,850	0	18,900	0	15,000	0	0	0	10,000	58,750
	全額免除	件数	0	1	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	6
		人数	0	15	0	0	0	29	28	23	16	0	23	0	134
		金額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	件数	0	1	3	2	2	1	3	5	2	2	2	3	26
		人数	0	15	400	400	20	29	328	483	96	150	123	230	2,274
		金額	0	0	37,800	27,810	0	18,900	8,000	29,000	24,000	10,000	10,000	50,000	215,510

(単位：件、人、円)

区 分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成27年度	全額徴収	件数	1	1	2	1	0	0	1	0	2	1	0	1	10
		人数	100	200	600	100	0	0	100	0	150	50	0	100	1,400
		金額	8,000	14,000	37,800	10,800	0	0	0	0	27,500	25,500	7,500	10,000	141,100
	1/2減免	件数	0	1	1	5	0	1	2	1	3	0	1	0	15
		人数	0	100	96	500	0	70	130	240	330	0	100	0	1,566
		金額	0	8,000	10,800	16,200	28,350	0	14,800	4,000	9,000	0	10,000	0	101,150
	全額免除	件数	0	0	0	0	2	3	0	1	1	0	1	0	8
		人数	0	0	0	0	30	58	0	22	16	0	21	0	147
		金額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	件数	1	2	3	6	2	4	3	2	6	1	2	1	33
		人数	100	300	696	600	30	128	230	262	496	50	121	100	3,113
		金額	8,000	22,000	48,600	27,000	28,350	0	14,800	4,000	36,500	25,500	17,500	10,000	242,250

(単位：件、人、円)

区 分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
比較・増減	全額徴収	件数	△ 1	△ 1	0	0	0	0	1	2	△ 1	1	0	2	3
		人数	△ 100	△ 200	△ 300	0	0	0	200	110	△ 70	100	0	130	△ 130
		金額	△ 8,000	△ 14,000	0	2,160	0	0	8,000	14,000	△ 3,500	△ 15,500	2,500	30,000	15,660
	1/2減免	件数	0	△ 1	0	△ 4	2	△ 1	△ 2	1	△ 3	0	0	0	△ 8
		人数	0	△ 100	4	△ 200	20	△ 70	△ 130	110	△ 330	0	0	0	△ 696
		金額	0	△ 8,000	△ 10,800	△ 1,350	△ 28,350	18,900	△ 14,800	11,000	△ 9,000	0	△ 10,000	10,000	△ 42,400
	全額免除	件数	0	1	0	0	△ 2	△ 2	1	0	0	0	0	0	△ 2
		人数	0	15	0	0	△ 30	△ 29	28	1	0	0	2	0	△ 13
		金額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	件数	△ 1	△ 1	0	△ 4	0	△ 3	0	3	△ 4	1	0	2	△ 7
		人数	△ 100	△ 285	△ 296	△ 200	△ 10	△ 99	98	221	△ 400	100	2	130	△ 839
		金額	△ 8,000	△ 22,000	△ 10,800	810	△ 28,350	18,900	△ 6,800	25,000	△ 12,500	△ 15,500	△ 7,500	40,000	△ 26,740

平成28年度一般廃棄物処理事業(し尿処理)の状況

項目／市町村名				単位	木津川市	笠置町	和束町	精華町	南山城村	計
計 画 収 集 人 口 等	計画収集区域内面積			k m ²	85.13	23.52	64.93	25.68	64.11	263.37
	計画収集区域内人口			人	75,555	1,421	4,130	37,621	2,838	121,565
	水 洗 化 人 口	公共下水道人口		人	65,220	0	1,912	35,704	0	102,836
		コミュニティ・プラント人口		人	0	0	0	0	0	0
		浄化槽人口		人	6,827	785	1,033	988	2,361	11,994
		内 訳	みなし浄化槽人口	人	2,179	243	139	737	142	3,440
			合併浄化槽人口	人	4,648	542	894	251	2,219	8,554
		水洗化人口 計		人	72,047	785	2,945	36,692	2,361	114,830
		非 水 洗 化 人 口	計画収集人口		人	3,492	631	1,185	915	469
	自家処理人口		人	16	5	0	14	8	43	
	非水洗化人口 計		人	3,508	636	1,185	929	477	6,735	
収 集 形 態	相楽郡広域事務 組合によるもの (し尿)		直 営	kℓ／年	0	0	0	0	0	0
			委 託	kℓ／年	3,112.62	749.60	882.07	574.13	593.02	5,911.44
			小 計	kℓ／年	3,112.62	749.60	882.07	574.13	593.02	5,911.44
	許可業者によるもの (浄化槽汚泥)			kℓ／年	4,844.61	603.60	967.12	978.02	1,062.85	8,456.20
	計			kℓ／年	7,957.23	1,353.20	1,849.19	1,552.15	1,655.87	14,367.64
処 理 内 訳	収 集 し 尿	し尿処理施設 (大谷処理場)		kℓ／年	7,957.23	1,353.20	1,849.19	1,552.15	1,655.87	14,367.64
		下水道投入		kℓ／年	0	0	0	0	0	0
		農 地 還 元		kℓ／年	0	0	0	0	0	0
		そ の 他		kℓ／年	0	0	0	0	0	0
		小 計		kℓ／年	7,957.23	1,353.20	1,849.19	1,552.15	1,655.87	14,367.64
	自 家 処 理 量 (自家処理人口×し尿原単位×365日/1000)			kℓ／年	14.26	5.94	0.00	8.78	10.12	39.10
	総 排 出 量			kℓ／年	7,971.49	1,359.14	1,849.19	1,560.93	1,665.99	14,406.74
し尿原単位				ℓ／人／日	2.44	3.25	2.04	1.72	3.46	2.42
浄化槽原単位				ℓ／人／日	1.94	2.11	2.56	2.71	1.23	1.93

平成28年度し尿くみ取り手数料残高確認表

単位：円

市町村 名 年月	木津川市		笠置町		和束町		精華町		南山城村		合 計	
	還付金	残 高	還付金	残 高	還付金	残 高	還付金	残 高	還付金	残 高	還付金	残 高
H27 残高		0		0		0		0		160,389		160,389
H28 4月	13,640	△ 13,640	0	0	0	0	0	0	0	160,389	13,640	146,749
5月	29,870	△ 43,510	0	0	0	0	0	0	0	160,389	29,870	116,879
6月	3,580	△ 47,090	0	0	220	△ 220	0	0	0	160,389	3,800	113,079
7月	7,040	△ 54,130	0	0	0	△ 220	4,400	△ 4,400	0	160,389	11,440	101,639
8月	840	△ 54,970	0	0	0	△ 220	0	△ 4,400	0	160,389	840	100,799
9月	1,870	△ 56,840	0	0	0	△ 220	0	△ 4,400	0	160,389	1,870	98,929
10月	4,400	△ 61,240	0	0	0	△ 220	938	△ 5,338	0	160,389	5,338	93,591
11月	4,510	△ 65,750	0	0	220	△ 440	0	△ 5,338	0	160,389	4,730	88,861
12月	440	△ 66,190	0	0	0	△ 440	0	△ 5,338	0	160,389	440	88,421
H29 1月	0	△ 66,190	0	0	3,370	△ 3,810	0	△ 5,338	0	160,389	3,370	85,051
2月	1,100	△ 67,290	0	0	0	△ 3,810	0	△ 5,338	1,000	159,389	2,100	82,951
3月	4,530	△ 71,820	0	0	0	△ 3,810	4,480	△ 9,818	0	159,389	9,010	73,941
H28 残高	71,820	△ 71,820	0	0	3,810	△ 3,810	9,818	△ 9,818	1,000	159,389	86,448	73,941

平成28年度 業者別し尿くみ取り委託料一覧表

単位:円

業者名 年月	(株)クリーン サービス 山城	(株)相楽清掃	(有)フシミ	相楽商事	大和清掃	合 計
H28.4	2,009,448	1,960,938	430,920	907,200	1,291,248	6,599,754
H28.5	1,809,108	2,000,628	400,680	907,200	1,084,482	6,202,098
H28.6	2,082,528	2,131,794	422,100	952,560	1,126,692	6,715,674
H28.7	1,908,144	1,936,998	417,060	884,520	1,065,960	6,212,682
H28.8	1,961,316	1,949,346	418,320	884,520	1,276,632	6,490,134
H28.9	1,698,228	1,829,142	423,360	884,520	910,476	5,745,726
H28.10	1,836,828	1,958,166	424,620	793,800	1,251,306	6,264,720
H28.11	1,604,106	1,719,396	439,740	905,814	1,000,944	5,670,000
H28.12	2,169,468	2,376,360	394,380	951,300	1,194,858	7,086,366
H29.1	1,522,332	1,631,322	413,280	917,280	965,664	5,449,878
H29.2	1,922,004	1,678,950	464,940	793,800	1,043,154	5,902,848
H29.3	1,691,676	2,009,196	429,660	975,240	1,038,492	6,144,264
合 計	22,215,186	23,182,236	5,079,060	10,757,754	13,249,908	74,484,144

※H28.6.27 (株)相楽清掃 緊急分630円含む。(500)

大谷処理場市町村別搬入量実績比較表(平成27・28年度)

	し　　尿				浄　化　槽　汚　泥				合　　計			
	H28年度 kℓ	H27年度 kℓ	差引 (H28-H27) kℓ	増減率 (差引÷H27×100) %	H28年度 kℓ	H27年度 kℓ	差引 (H28-H27) kℓ	増減率 (差引÷H27×100) %	H28年度 kℓ	H27年度 kℓ	差引 (H28-H27) kℓ	増減率 (差引÷H27×100) %
木津川市	3,112.62	3,373.09	△ 260.47	△ 7.72	4,844.61	5,111.98	△ 267.37	△ 5.23	7,957.23	8,485.07	△ 527.84	△ 6.22
笠　置　町	749.60	770.06	△ 20.46	△ 2.66	603.60	606.91	△ 3.31	△ 0.55	1,353.20	1,376.97	△ 23.77	△ 1.73
和　東　町	882.07	940.39	△ 58.32	△ 6.20	967.12	1,122.52	△ 155.40	△ 13.84	1,849.19	2,062.91	△ 213.72	△ 10.36
精　華　町	574.13	682.83	△ 108.70	△ 15.92	978.02	960.60	17.42	1.81	1,552.15	1,643.43	△ 91.28	△ 5.55
南山城村	593.02	625.55	△ 32.53	△ 5.20	1,062.85	1,029.38	33.47	3.25	1,655.87	1,654.93	0.94	0.06
計	5,911.44	6,391.92	△ 480.48	△ 7.52	8,456.20	8,831.39	△ 375.19	△ 4.25	14,367.64	15,223.31	△ 855.67	△ 5.62

大谷処理場月別搬入量実績（平成２７・２８年度）

区分 月別	し　　尿			浄化槽汚泥			合　　計		
	H 2 7 年度 kℓ	H 2 8 年度 kℓ	比　　率 %	H 2 7 年度 kℓ	H 2 8 年度 kℓ	比　　率 %	H 2 7 年度 kℓ	H 2 8 年度 kℓ	比　　率 %
4 月	604.55	523.79	86.64	669.58	713.93	106.62	1,274.13	1,237.72	97.14
5 月	535.96	492.23	91.84	727.92	737.09	101.26	1,263.88	1,229.32	97.27
6 月	560.94	532.99	95.02	881.54	873.74	99.12	1,442.48	1,406.73	97.52
7 月	551.23	493.07	89.45	720.46	655.51	90.98	1,271.69	1,148.58	90.32
8 月	554.05	515.09	92.97	725.51	641.17	88.38	1,279.56	1,156.26	90.36
9 月	576.90	456.01	79.04	538.18	562.07	104.44	1,115.08	1,018.08	91.30
1 0 月	489.70	497.20	101.53	689.47	625.58	90.73	1,179.17	1,122.78	95.22
1 1 月	475.73	450.00	94.59	789.95	679.29	85.99	1,265.68	1,129.29	89.22
1 2 月	600.22	562.41	93.70	752.78	709.66	94.27	1,353.00	1,272.07	94.02
1 月	436.96	432.53	98.99	697.13	642.84	92.21	1,134.09	1,075.37	94.82
2 月	521.73	468.48	89.79	731.94	747.72	102.16	1,253.67	1,216.20	97.01
3 月	483.95	487.64	100.76	906.93	867.60	95.66	1,390.88	1,355.24	97.44
合計	6,391.92	5,911.44	92.48	8,831.39	8,456.20	95.75	15,223.31	14,367.64	94.38
平均	532.66	492.62	92.48	735.95	704.68	95.75	1,268.61	1,197.30	94.38

※比率：平成２７年度を１００％とした場合の平成２８年度の割合。

平成 2 8 年度大谷処理場運転維持管理業務委託契約額比較表

相 楽 郡 広 域 事 務 組 合

項 目	平成28年度 〔契約額〕 円	平成27年度 〔契約額〕 円	増 減 額 (H28-H27)円	増 減 率 %	備 考
契 約 額	200,766,600	208,946,520	Δ 8,179,920	Δ 3.9	
① 人 件 費	38,116,885	40,485,000	Δ 2,368,115	Δ 5.9	統括責任者1名、主任技術者1名 技師4名、技師補助（事務）1名
② 電 力 費	19,621,000	18,722,000	899,000	4.8	処理場、水源池
③ 薬 品 費	47,706,000	49,181,000	Δ 1,475,000	Δ 3.0	硫酸バンド、活性炭、重油等
④ 水道光熱費	120,000	142,000	Δ 22,000	Δ 15.5	水道、プロパンガス
⑤ 消耗材費	975,000	1,036,000	Δ 61,000	Δ 5.9	油、オイル、塗料等
⑥ 委 託 費	1,889,000	2,009,000	Δ 120,000	Δ 6.0	電気保安協会、消防用設備等点検、昇降機、 機械警備、床清掃、自動ドア、空調機、チ ラーユニット
⑦ 経年維持 補修費	66,620,000	69,994,000	Δ 3,374,000	Δ 4.8	設備機器の補修 （特に連続運転の機器）
⑧ 間接業務費	2,530,000	2,688,000	Δ 158,000	Δ 5.9	安全衛生費、通信連絡費、旅費 交通費、法定福利費
⑨ 一般管理費	8,319,523	9,212,000	Δ 892,477	Δ 9.7	
千円止（調整）	Δ 2,408	0	Δ 2,408	—	
計	185,895,000	193,469,000	Δ 7,574,000	Δ 3.9	
消 費 税 等	14,871,600	15,477,520	Δ 605,920	Δ 3.9	

経 年 維 持 補 修 費	4,820,320	0	4,820,320	皆増	監視ソフトパソコン更新整備、流動床ブ ロワ（No.1）定期整備・吸気、排気バル ブ更新整備
------------------	-----------	---	-----------	----	---

●平成28年度（委託料）

組 合 直 営	項 目	金 額（円）	備 考
	水質・大気分析業務	968, 436	水質：鶴舞厚生(株)486, 000円、大気：(株)日吉482, 436円
	清掃汚泥運搬処分業務	7, 020, 000	70, 200円/ t 100 t 処分（八光海運(株)）
	焼却灰運搬業務	526, 176	43, 848円/台 12台処分（八光興業(株)）
	焼却灰埋立業務	344, 736	9, 072円/ t 38 t 処分（大阪湾フェニックスセンター）
	P C B 運搬業務	199, 800	(株)京都環境保全公社 高圧コンデンサ 2 台
	P C B 処分業務	1, 229, 000	中間貯蔵・環境安全事業(株) 高圧コンデンサ 2 台
	トラックスケール法定検査	25, 000	一般社団法人京都府計量協会（大型はかり 1 基）

平成28年度 放流量・水質分析表

(相楽郡広域事務組合 大谷処理場)

年／月 項 目		単位	平成28年										平成29年			大谷処理場 自主基準値
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
水量	放 流 水 量 月 平 均 値	m³/日	59.7	52.4	68.3	48.2	50.4	42.0	46.1	57.5	53.1	47.6	51.2	59.5	130.5	
水 質	水 素 イ オ ン 濃 度 (pH)		7.0	7.7	7.0	6.8	7.0	7.0	7.1	6.8	7.0	7.2	6.4	6.7	5.8～8.6	
	生物化学的酸素 要求量(BOD)	mg/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	10	
	化学的 酸 素 要求量(COD)	mg/ℓ	1.6	1.3	1.4	1.1	2.0	1.0	1.9	1.0	1.7	2.3	2.9	1.5	20	
	浮 遊 物 質 量 (SS)	mg/ℓ	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	10	
	全 窒 素	mg/ℓ	1.1	0.85	0.55	1.0	2.4	1.8	2.6	1.2	1.2	2.2	3.0	1.3	10	
	全 り ん	mg/ℓ	0.03	0.05	0.03	0.09	0.04	0.04	0.03	0.07	0.03	0.04	0.02	0.01	1	
	大 腸 菌 群 数	個/cm³	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000	
	色 度 度		<1	1	1	<1	<1	1	1	<1	1	<1	<1	<1	30	

※水量:運転管理月報(1)による

※水質分析機関:舞鶴厚生株式会社

平成28年度 ダイオキシン類測定結果

年 月 日	単位	平成28年		採取場所	国の基準値
項 目		5月26日	11月10日		
排 ガ ス	ng-TEQ/m³N	0.019	—	汚泥乾燥焼却炉	10ng-TEQ/m³N
焼 却 灰	ng-TEQ/g	—	0.0000015	灰ホツパ	3ng-TEQ/g

※大気分析機関:株式会社日吉

【単位・用語の解説】

ng(ナノグラム):10億分の1グラム

TEQ:最も毒性の強いダイオキシンの毒性係数を1.0として算出される毒性等量

m³N:0℃、1気圧の条件での気体の体積

【法令根拠等】

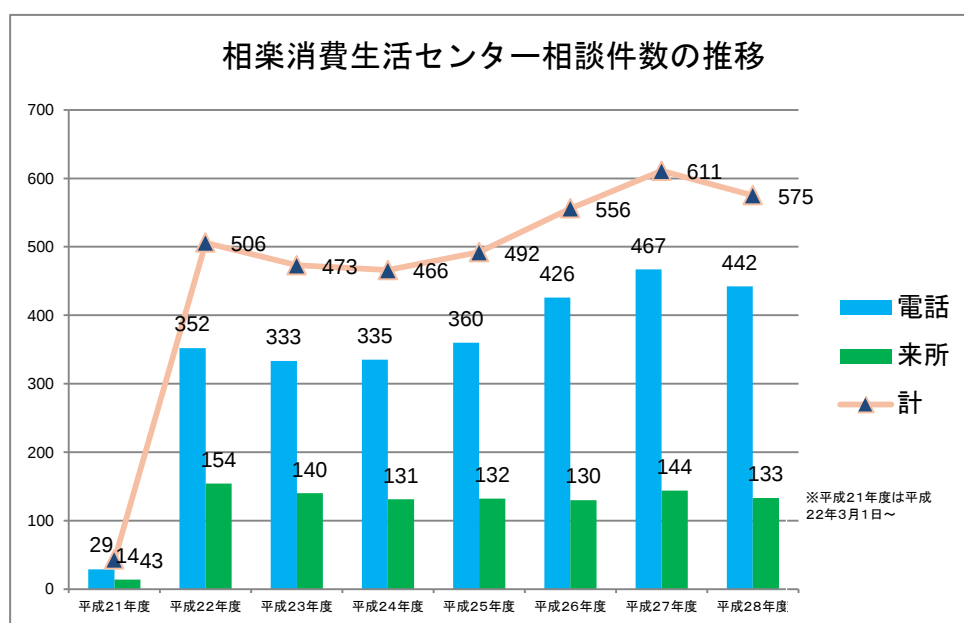
・排ガス…ダイオキシン類対策特別措置法第28条第1項の規定により毎年1回以上、ダイオキシン類の測定を行わなければならない。

・焼却灰…ダイオキシン類対策特別措置法第24条第1項の規定により同法施行規則第7条の2第1項に規定する基準以内となるように処理しなければならない。また、同法第28条第2項の規定により、排ガスのダイオキシン類の測定に併せて測定を行わなければならない。

相楽消費生活センター相談件数の推移

(単位：件、%)

年 度 市町村名		H21年度 (H22. 3)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	合 計	割 合
木津川市		32	300	304	291	315	364	392	375	2, 373	63. 7
笠 置 町		0	11	5	8	5	5	6	1	41	1. 1
和 東 町		0	24	12	13	8	15	16	11	99	2. 7
精 華 町		8	134	130	127	143	150	162	169	1, 023	27. 5
南山城村		2	25	16	12	14	12	17	9	107	2. 9
そ の 他		1	12	6	15	7	10	18	10	79	2. 1
合 計		43	506	473	466	492	556	611	575	3, 722	100. 0
電 話	比率	29	352	333	335	360	426	467	442	2, 744	73. 7
来 所		14	154	140	131	132	130	144	133	978	26. 3



平成28年度相楽消費生活センター相談受付表

単位：件、％

市町村名	年月 種別	H28 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H29 1月	2月	3月	合計	割合
木津川市	電話	23	29	18	16	23	23	35	28	20	24	27	20	286	
	来所	4	9	8	12	16	4	3	7	3	4	6	13	89	
	計	27	38	26	28	39	27	38	35	23	28	33	33	375	65.22
笠 置 町	電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.17
和 束 町	電話	2	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	1	9	
	来所	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	
	計	2	0	3	0	1	1	0	1	1	1	0	1	11	1.91
精 華 町	電話	12	14	14	11	9	16	9	10	10	9	6	12	132	
	来所	3	1	5	1	3	2	6	5	1	1	2	7	37	
	計	15	15	19	12	12	18	15	15	11	10	8	19	169	29.39
南山城村	電話	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	6	
	来所	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	
	計	1	2	0	0	0	1	0	1	0	0	3	1	9	1.57
そ の 他	電話	2	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	2	8	
	来所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	
	計	2	0	1	0	0	1	0	1	1	0	2	2	10	1.74
合 計	電話	40	44	35	27	33	41	44	39	32	33	37	37	442	76.87
	来所	7	11	14	13	19	7	9	14	4	6	9	20	133	23.13
	計	47	55	49	40	52	48	53	53	36	39	46	57	575	100.00
相 談 日 数		20	19	22	20	22	20	21	20	19	19	20	22	244	
1日当たりの件数		2.4	2.9	2.2	2.0	2.4	2.4	2.5	2.7	1.9	2.1	2.3	2.6	2.4	

※平成25年度から巡回相談廃止

相楽消費生活センター相談件数比較表

単位：件、％

区分 市町村名	電 話				来 所				合 計			
	H28年度	H27年度	差引	増減率	H28年度	H27年度	差引	増減率	H28年度	H27年度	差引	増減率
木津川市	286	299	△ 13	△ 4.3	89	93	△ 4	△ 4.3	375	392	△ 17	△ 4.3
笠 置 町	1	3	△ 2	△ 66.7	0	3	△ 3	皆減	1	6	△ 5	△ 83.3
和 束 町	9	11	△ 2	△ 18.2	2	5	△ 3	△ 60.0	11	16	△ 5	△ 31.3
精 華 町	132	129	3	2.3	37	33	4	12.1	169	162	7	4.3
南山城村	6	11	△ 5	△ 45.5	3	6	△ 3	△ 50.0	9	17	△ 8	△ 47.1
そ の 他	8	14	△ 6	△ 42.9	2	4	△ 2	△ 50.0	10	18	△ 8	△ 44.4
合 計	442	467	△ 25	△ 5.4	133	144	△ 11	△ 7.6	575	611	△ 36	△ 5.9

平成28年度 消費生活相談(商品別分類) 統計データ

相楽消費生活センター							
コードNo		内 容	件数	コードNo		内 容	件数
A	00	商品一般	13		10	土地・建物・設備一般	0
B	10	食品一般	2	I	20	土地	0
	21	穀類	1		31	建物一般	3
	22	魚介類	2		32	集合住宅	17
	23	肉類	1		33	戸建住宅	32
	24	乳卵類	0		34	他の建物	2
	25	野菜・海草	4		40	住宅構成材	3
	26	油脂・調味料	2		51	空調・冷暖房・給湯設備	11
	31	果物	1		52	衛生設備	8
	32	菓子類	0	53	屋外装備品	1	
	33	飲料	1	54	他の住宅設備	2	
	34	酒類	0	J	00	他の商品	0
	40	調理食品	5	P	00	役務一般	3
	51	健康食品	16	Q	10	金融・保険一般	0
	52	食料品その他	0		20	生命保険	4
C	10	住居品一般	0		30	損害保険	4
	21	食生活機器	5		35	その他の保険	4
	22	食器・台所用品	5		70	預貯金・証券等	6
	23	洗濯・裁縫道具	1		75	デリバティブ取引	0
	24	掃除用具	1		76	ファンド型投資商品	4
	25	洗浄剤等	0		80	融資サービス	7
	31	空調・冷暖房機器	5	90	他の金融関連サービス	7	
	32	家具・寝具	8	R	70	運輸・輸送サービス一般	0
33	室内装備品	1	71		旅客運送サービス	2	
34	照明器具	2	72		郵便・貨物運送サービス	7	
40	他の住居品	2	80		放送・通信サービス一般	1	
D	10	光熱水品一般	0		81	電報・固定電話	2
	20	電気	1		82	移動通信サービス	15
	30	ガス	1		83	放送・コンテンツ等	125
	40	石油	0		84	インターネット通信サービス	19
	50	水道	3	S	10	教育一般	0
	60	他の光熱水品	0		20	学校教育	4
E	10	被服品一般	2		30	補習教育	0
	20	和服	3		40	他の教育	0
	31	洋服一般	0	T	10	教養・娯楽一般	0
	34	子供洋服	0		20	旅行代理業	2
	35	洋装下着	2		30	宿泊施設	1
	36	紳士・婦人洋服	6		40	教育・講座	10
	41	履物	4		50	観覧・観賞	1
	42	かばん	4		60	各種会員権	0
	43	アクセサリー	7		70	他の教養・娯楽	6
	44	他の身の回り品	2	U	10	保健・福祉一般	0
50	生地・糸類	0	21		医療	8	
60	他の被服品	0	22		理美容	3	
F	10	保健衛生品一般	0		23	浴場	0
	20	医薬品	0		24	衛生サービス	6
	30	医療用具	0		31	保育	0
	40	化粧品	9		32	老人福祉・サービス	0
	50	理美容器具・用品	1		40	他の保健・福祉	3
	60	他の保健衛生品	0	V	10	外食・食事宅配	1
G	10	教養娯楽品一般	0		20	冠婚葬祭	2
	20	文具・事務用品	1		30	家事サービス	0
	21	パソコン・パソコン関連用品	11		40	役務その他	23
	25	電話機・電話機用品	4	W	15	内職・副業一般	0
	30	学習教材	0		30	自動販売機	0
	40	書籍・印刷物	7		40	内職・副業	2
	50	音響・映像製品	3		50	無限連鎖講	0
	60	スポーツ用品	2	X	00	他の行政サービス	4
	71	カメラ類	0	Z	10	消費者運動（消費者問題一般）	0
	72	時計	2		20	家庭管理	2
	73	他の光学機器	0		30	健康管理	0
	80	玩具・遊具	3		40	相隣関係	2
	91	楽器	1		50	慣習・しきたり	0
	92	他の教養娯楽品	3		60	婚姻	0
H	10	車両・乗り物一般	0		70	相続	3
	20	自動車	17		80	相談その他	21
	30	自動車用品	3	合 計			575
	40	自転車・用品	2				
	50	運搬用具	0				
	60	他の乗り物	0				

※PIO-NET（全国消費生活情報ネットワーク・システム）により集計

平成28年度消費生活相談等の状況について

平成28年度、相楽消費生活センターで受け付けた消費生活相談等の状況について、まとめました。

相談件数は575件（平成27年度は611件）であった。

相談の傾向

（１）相談件数が前年度より36件減少（△5.9％）

インターネット通信サービスで20件減少、特にプロバイダ関連のトラブル等が減少している。京都府及び近隣の消費生活センターでは、本センターと同じく、前年度比で減少しており、全体的な傾向によるものと考えられる。

（２）インターネット情報サービスをめぐるトラブルがトップ

インターネット利用の機会の増加、ネット関連機器の多様化から、相談件数がトップを占めた。

（３）戸建住宅が増加

戸建住宅が前年度より16件増加。リフォーム工事などのトラブルが増加した。

（４）電話勧誘販売が減少し、通信販売が増加

勧誘・契約形態については、電話勧誘販売が前年度から19件減少し、通信販売が10件増加。

啓発

●消費生活出前講座の実施

本センター消費生活相談員等が地域に出向き、無料で地域住民へ悪質商法の手口と対処法等を説明し、消費者トラブルの未然防止に努めている。平成28年度は、全部で12回実施した。（参加者数233人）

●消費生活講座の実施

消費生活に関する知識を習得し、適切な行動に結びつける実践的能力を育成するという観点から今日的な消費者問題を学び、さらに、地域における消費者啓発や高齢者被害防止のために役立てていただくことにより、地域全体の被害防止につなげることを目的として、消費生活講座（4回）を開催した。（申し込み人数61人、参加者数延べ102人）

●消費者被害の未然防止のための広報の実施

消費者被害の未然防止と被害救済のため、トラブル事例の紹介など消費者問題について、市町村広報紙等への掲載や本組合ホームページでの情報提供を行った。（毎月）

●普及啓発事業の実施

各市町村催（祭）事及び相楽中部消防組合消防フェア（イオン高の原）にブースを出展し、本センターのPRをはじめ、消費者クイズを実施した。（6回）

第24回相楽の文化を創るつどい（平成29年2月12日（日）開催）において、京都府との共催により、消費者啓発ミュージカル（特定非営利活動法人 発起塾 シニアミュージカル劇団）と、本センター消費生活相談員による啓発講座を実施した。

相談の傾向と特徴について

(1) 相談件数が前年度より36件減少(△5.9%)

(図1、表1参照)

相談件数は、前年度より36件減少。内訳は、「苦情」が501件(前年度559件)、「問合わせ・要望」が74件(前年度52件)となっている。

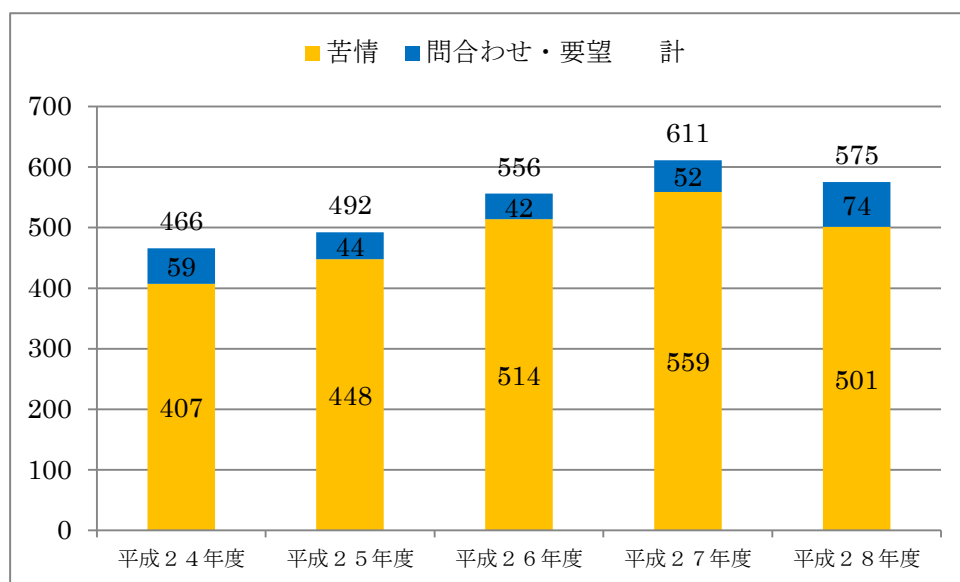
苦情件数については、インターネット通信サービスが減少したことなどが要因である。

特にプロバイダ関連のトラブルが減少したことによるものと考えられる。

契約当事者の年齢については、前年度同様で60歳以上が4割近くを占めている。

※「苦情」とは、実際に消費者トラブルが発生しているか発生の恐れがあるものを指し、「問合わせ・要望」は、消費者トラブルが発生していないもの、事業者や行政からの問合わせ、消費生活相談に該当しないものを指している。

(図1) 消費生活相談の推移



(表1) 苦情における契約当事者の年代別内訳

	未成年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計	前年度
男 性	3	9	29	31	43	49	49	0	213	279
女 性	9	23	36	60	58	46	38	9	279	263
その他	0	0	0	1	2	0	4	2	9	17
合計	12	32	65	92	103	95	91	11	501	559
構成比	2.4%	6.4%	13.0%	18.4%	20.5%	19.0%	18.1%	2.2%	100.0%	100.0%
前年度	22	40	79	103	83	96	122	14	559	
構成比	3.9%	7.2%	14.1%	18.4%	14.8%	17.2%	21.8%	2.6%	100.0%	

※その他：事業者や団体等からの苦情相談

（２）インターネット情報サービスをめぐるトラブルがトップ（１２５件）

（表２、３参照）

平成２８年度においても、苦情相談で最も多かったのはインターネット情報サービス（アダルト動画サイトなどのワンクリック請求や出会い系サイトをめぐるトラブル）であった。

ワンクリック請求では、請求画面に「誤って操作をした場合は、こちら」などとしてメール先や電話番号が書かれており、慌ててメールをしたり電話をかけたりし、相手に連絡をしているケースがある。

スマートフォンで誤ってアダルトサイトにアクセスしてしまい、年齢確認ボタンを押したら登録完了と表示され、会費を請求されたという例もあった。

年代別の傾向をみると、４０歳以下が減少であり、５０歳以上は増加となっている。

（表２）主な品目別苦情件数

順位	商品・役務内容	内 容	２８年度	前年度	増減
１	放送・コンテンツ等	スマートフォンの架空請求、アダルト情報サイトのワンクリック請求	１２５	１２４	１
２	戸建住宅	屋根工事、外壁塗装工事	３２	１６	１６
３	役務その他	弁護士相談	２３	１９	４
４	相談その他	交通事故、労働相談	２１	１６	５
５	インターネット通信サービス	光回線・プロバイダ関連トラブル	１９	３９	△２０
６	自動車	中古車	１７	１２	５
６	集合住宅	賃貸住宅	１７	１７	－

（表３）インターネット情報サービスに係る年代別相談件数

	２０歳未満	２０歳代	３０歳代	４０歳代	５０歳代	６０歳代	７０歳以上	不明	計
Ｈ２８	２	６	１１	２５	２９	２７	２３	２	１２５
前年度	２	１１	１４	３０	２３	２７	１７	０	１２４

（３）戸建住宅が増加（３２件）

戸建住宅が前年度より１６件増加。屋根工事、外壁塗装工事以外に、ベランダ防水工事、床下補強工事などのリフォーム工事のトラブルがあった。

（４）電話勧誘販売が減少し、通信販売が増加

（表４参照）

販売購入形態別にみると、前年度から電話勧誘販売が１９件減少し、通信販売が１０件増加している。

電話勧誘販売の相談件数が減少した主な理由は、「プロバイダ関連のトラブル」などの相談が減少したことによるものである。

通信販売の相談件数はパソコンやスマートフォンの普及に伴い急増中で、相談の多くが、ワンクリック請求、不当請求メールのトラブルやインターネット通販トラブルである。

(表4)販売購入形態別苦情件数

		件数(%)	前年(%)	増減数
店舗購入		134(26.7)	150(26.8)	△16
特殊販売	訪問販売	41(8.2)	41(7.3)	0
	通信販売	217(43.3)	207(37.0)	10
	マルチ・マルチまがい	7(1.4)	6(1.1)	1
	電話勧誘販売	25(5.0)	44(7.9)	△19
	ネガティブ・オプション※1	2(0.4)	1(0.2)	1
	訪問購入※2	8(1.6)	7(1.3)	1
	その他無店舗	2(0.4)	3(0.5)	△1
不明・無関係		65(13.0)	100(17.9)	△35
合 計		501(100.0)	559(100.0)	△58

※1 注文をしていない商品を一方的に送り付ける手口

※2 業者が訪問して物品の買い取りを行うもの

2. 相談対応について

(表5、6参照)

平成28年度に消費生活センターが“あっせん”を行った相談件数は62件（あっせん率 10.8%）となり、平成27年度に比べて17件減少（△21.5%）した。あっせん解決率は、96.8%と引き続き9割以上の解決率を維持している。

(表5)処理結果内訳

年度	項目	助 言 (自主解決)	斡旋解決	斡旋不調	その他情報提供	処理不能 処理不要 その他	他機関紹介	計
H28	件 数	462	60	2	25	12	14	575
	構成比(%)	80.4	10.4	0.4	4.3	2.1	2.4	100.0

(表6)複数回相談件数(「あっせん」のみ)

回 数	件 数	比 率	回 数	件 数	比 率
5 回未満	22 件	35.5%	15 回以上	3 件	4.8%
5 回以上	19 件	30.7%	20 回以上	10 件	16.1%
10 回以上	8 件	12.9%	計	62 件	100.0%

※「あっせん」とは、相談者（消費者）の自主交渉によってトラブルを解決することが困難であると認められる場合に、相談者（消費者）と相手方（事業者）の間で自主的な解決が行われるように、消費生活センターが助言・援助等を行うこと。

相楽消費生活センター

(0774)72-9955

fax.(0774)72-9933



**相談すれば
相楽になる**

- 相談日／月曜日～金曜日（祝、休日、年末年始を除く）
- 相談時間／am9:00～pm4:00
- 所在地／木津川市木津上戸15番地 相楽会館内

平成28年度消費生活センター関係会議・研修出席状況

番号	月 日	内 容	場 所	出席者
1	4月21日	情報交換会・消費生活に関する研修会	京都テルサ	相談員
2	4月25日～26日	消費生活相談員研修 専門・事例講座(1泊2日コース) 最近の制度・法改正1回目	国民生活センター相模原研修施設	相談員
3	5月17日	情報交換会・消費生活に関する研修会	京都テルサ	相談員
4	5月19日	消費者問題合同事例研究会	京都弁護士会館	相談員
5	5月25日	消費者フォーラムin奈良	学園前ホール	事務局
6	5月28日	宇治市消費者まつり	宇治市生涯学習センター	事務局
7	5月30日	消費生活リレー講座会議	京都府宇治総合庁舎	事務局
8	6月21日	情報交換会・苦情処理研究会	京都テルサ	相談員
9	7月5日	山城地域消費生活リレー講座2016	まちの駅クロスピアくみやま	事務局
10	7月19日	消費生活行政担当者・消費生活相談員等研修会	京都テルサ	相談員
11	7月20日	消費者問題合同事例研究会	京都テルサ	相談員
12	8月5日	市町村消費者行政担当課長会議	メルパルク京都	事務局
13	8月30日	消費者セミナー(スマホやネットに潜む危険)	加古川総合庁舎	事務局
14	9月20日	情報交換会・苦情処理研究会	京都テルサ	相談員
15	9月21日	消費生活フォーラム(コンシューマーズ京都)	コープイン京都	事務局
16	9月23日	消費者問題合同事例研究会	京都市消費生活総合センター	相談員
17	9月27日	消費生活リレー講座会議	京都府宇治総合庁舎	事務局
18	9月30日	平成29年度地方消費者行政推進交付金を活用して行われる消費者行政事業ヒアリング	京都テルサ	事務局
19	10月3日～5日	消費生活相談員研修 専門・事例講座(2泊3日コース) 特商法関連の契約トラブル1回目	徳島県鳴門合同庁舎	相談員
20	10月7日	近畿ブロック消費生活センター連絡会議(普及啓発部会)	神戸国際会館	事務局
21	10月17日	京都南部消費者問題研修会	京都府宇治総合庁舎	相談員
22	10月18日	情報交換会・消費生活に関する研修会	京都テルサ	相談員
23	10月27日	近畿ブロック消費生活センター連絡会議	福井県国際交流会館	事務局
24	11月15日	消費生活行政担当者・消費生活相談員等研修会	京都テルサ	相談員
25	11月16日	消費者問題合同事例研究会	京都弁護士会館	相談員
26	12月1日～2日	消費生活相談員研修 専門講座地域コース広島県	合人社ウエンディひと・まち・プラザ	相談員
27	12月8日	近畿ブロック消費生活センター連絡会議(相談部会)	神戸相楽園会館	相談員
28	12月12日	京都南部消費者問題研究会	京都府宇治総合庁舎	相談員
29	12月20日	情報交換会・消費生活に関する研修会	京都テルサ	相談員
30	1月16日	消費者問題合同事例研究会	京都テルサ	相談員
31	2月2日	消費生活行政担当者・消費生活相談員等研修会	京都テルサ	相談員
32	2月6日	京都南部消費者問題研究会	京都府宇治総合庁舎	相談員
33	3月22日	市町村消費者行政担当課長会議	ホテル京阪京都グランデ	事務局

平成28年度 相楽消費生活センター消費者啓発実績

1 消費生活講座

回	日 時	内 容	場 所
1	9月14日（水） 13：30～15：30 参加者：29人	テーマ：「特殊詐欺・悪質商法・ネットによる被害の手口と対策」 講 師：京都府木津警察署生活安全課生活安全係警部補 近藤 勇二 氏	相楽会館 大ホール
2	9月28日（水） 9：30～16：30 参加者：16人	テーマ：“日本遺産「日本茶800年の歴史散歩～京都・山城～」& けいはんな ^{イミライ} e2未来スクエア”を体験しよう ＜茶源郷 和束＞ 内 容：日本遺産、白栖・石寺景観見学 抹茶アート体験・昼食（京都 和束荘）、施設見学（和束茶カフェ） ＜けいはんなプラザ＞ テーマ：けいはんなでのエコに関する取組み 講 師：公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構事業推進部 調査役 矢野 直樹 氏 施設見学：「けいはんな ^{イミライ} e2未来スクエア」	和束町 （京都 和束荘） ・精華町 （けいはんなプラザ）
3	10月10日（月・祝） 13：30～15：30 参加者：28人	テーマ：「人はなぜダマされる」～賢い消費者になるために～ 講 師：神戸学院大学人文学部人間心理学科 教授 秋山 学 氏	相楽会館 大ホール
4	10月25日（火） 12：00～17：15 参加者：29人	テーマ：「整理収納セミナー リビング編」 ～整理収納の応用とカードワーク～ 講 師：出張おかたづけサービス ビジューオーガナイズ株式会社 チーフスタッフ 北林 敦子 氏 施設見学：「大阪ガス ハグミュージアム」（大阪市西区）	大阪ガス ハグミュージアム

◎参加者：延べ102人

2 消費生活出前講座

回	月日・参加者数	団体名	市町村名	テ ー マ
1	4月28日（木） 参加者：16人	里さわやか教室	木津川市	だまされない消費者になろう！
2	5月17日（火） 参加者：23人	観音寺老人クラブ観寿会	木津川市	悪質商法、特殊詐欺
3	6月17日（金） 参加者：17人	恭仁女性の会	木津川市	悪質商法の新しい手口、振り込め詐欺に遭わないために
4	6月22日（水） 参加者：11人	しょうがい者就業・生活支援センター あん	木津川市	マイナンバー制度について
5	6月24日（金） 参加者：21人	精華町老人クラブ連合会女性部会	精華町	契約トラブルとクーリング・オフ
6	8月19日（金） 参加者：8人	南部ふれあいサロンなかよし会	笠置町	高齢者の消費者被害について
7	9月9日（金） 参加者：18人	社協5番区支部	木津川市	高齢者をねらう消費者トラブル
8	9月30日（金） 参加者：31人	精華町僧坊長寿会	精華町	悪質商法の手口、高齢者をねらう悪質業者の実態
9	10月19日（水） 参加者：33人	木津川市社協相楽台区支部	木津川市	だまされないための消費生活講座 消費者被害防止
10	11月9日（水） 参加者：20人	北ノ堂すてき65メイト	精華町	消費生活に関する悪質商法等による事例対応
11	12月2日（金） 参加者：19人	精華町老人クラブ連合会	精華町	最近の悪質商法の事例について
12	1月24日（火） 参加者：16人	南山城村民生児童委員協議会	南山城村	高齢者をねらう悪質業者の実態

◎参加者：233人（12団体）

●市町村毎の申込み状況

市町村	団体数	割 合	参加人数
木津川市	6団体 (0)	51%	118
笠 置 町	1団体 (0)	8%	8
和 束 町	0団体 (0)	0%	0
精 華 町	4団体 (0)	33%	91
南山城村	1団体 (0)	8%	16
計	12団体 (0)	100%	233

() : 土日祝・時間外

3 各市町村まつり等へのブース出展

市町村名・イベント名	月 日	啓発ティッシュ 配布数 (個)	備 考
木津川市 木の津まつり	11月13日 (日)	500	相談：0件、クイズ実施75人
木津川市 やましろまつり	11月 6日 (日)	500	本部配布
木津川市 かもまつり	10月29日 (土) ～10月30日 (日)	1,000	本部配布
笠 置 町 鍋ー1 グランプリ	12月 4日 (日)	500	相談：0件、クイズ実施103人
和 束 町 茶源郷まつり	11月 6日 (日)	500	相談：0件、クイズ実施65人
精 華 町 せいか祭り	11月20日 (日)	500	相談：0件、クイズ実施150人
南山城村 むら活き生きまつり	11月23日 (水・祝)	500	相談：0件、クイズ実施84人
相楽中部消防組合 消防フェア (イオン高の原)	11月 5日 (土)	50	相談：0件 ・消火器の訪問販売にご用心！チラシ30枚
相楽の文化を創るつどい実行委員会 第24回相楽の文化を創るつどい 消費生活講座 (むくのきセンター)	2月12日 (日)	160	【振り込め詐欺撲滅ミュージカル】「魔法にかけられた4人の美女たち」特定非営利活動法人 発起塾シニアミュージカル劇団と当センター消費生活相談員による消費生活講座
合 計		4,210	相談：0件、クイズ実施477人

4 各市町村広報誌への啓発記事掲載

掲載号	テーマ
4月号	マイナンバー制度をかたる不審な訪問
5月号	電力小売自由化でどんなことに気をつければ良いのでしょうか？／5月は消費者月間です
6月号	リコール情報をご存知ですか？
7月号	“アポイントメントセールス”に気をつけて！
8月号	500円でお試しするだけのつもりだったのが・・・
9月号	再び増加している架空請求に注意しましょう
10月号	役所から排水管の点検に来ました？
11月号	インターネット回線接続契約、取り消したい！
12月号	会員サービスの無料おためし期限に注意しましょう
1月号	借金の返済ができない！！
2月号	15年間保証すると言われた給湯器、事業者と連絡がつかない！
3月号	プリペイドカードで支払わせる詐欺に注意しましょう

5 ホームページからの情報提供

6 啓発リーフレット等の配布

No.	資料名	資料の目的	対象者	配布・配置場所	配布部数
1	消費者啓発リーフレット (高齢者向け)	情報提供	高齢者	出前講座・老人クラブ、社会福祉協議会等	1,000部
2	消費者啓発リーフレット (若者向け)	情報提供	新成人	成人式会場	2,000部
3	PR用チラシ	窓口PR	一般	各市町村等	20,000枚
4	ポケットティッシュ	啓発グッズ	一般	各市町村まつり等	20,000個
5	マグネットシート	啓発グッズ	高齢者	敬老会会場	7,000枚
6	ウェットティッシュ	啓発グッズ	一般	イベント・各市町村等	2,000個
7	ボールペン	啓発グッズ	一般	出前講座・各市町村等	500本
8	メモ帳	啓発グッズ	一般	消費生活出前講座等	500冊
9	くらしの豆知識	情報提供	消費生活講座参加者	消費生活講座・各市町村等	150冊
10	見守りワークブック	情報提供	一般	社会福祉協議会、地域包括支援センター等	100冊

7 山城地域消費生活リレー講座

回	日 時	内 容	場 所
1	7月28日(木) 13:30~15:00 参加者:16組42人	テーマ:親子で学ぼうお買い物 講 師:FPオフィスK&W ファイナンシャルプランナー 木戸 明美 氏 講 師:FPオフィスK&W ファイナンシャルプランナー 渡邊 孝子 氏	精華町役場
2	2月1日(水) 13:30~15:00 参加者:18人	テーマ:「老いる前に身の周りを整理しよう」 講 師:大阪健康福祉短期大学 介護福祉学科教授 川口 啓子 氏	木津川市東部交流会館

◎参加者合計 60人

- 主 催 京都府・宇治市・城陽市・八幡市・京田辺市・木津川市・久御山町・宇治田原町
井手町・精華町・和束町・笠置町・南山城村・相楽郡広域事務組合
- 企画運営 特定非営利活動法人コンシューマーズ京都(京都消団連)

相楽消費生活センター

(0774)72-9955

fax.(0774)72-9933



ちょっと待て
その契約!!

- 相談日/月曜日~金曜日(祝、休日、年末年始を除く)
- 相談時間/am9:00~pm4:00
- 所在地/木津川市木津上戸15番地 相楽会館内

平成 2 8 年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業実績報告書

事 業 名	事 業 内 容	事業費 千円
ホームページ の管理運営	ホームページの管理運営 ・コンテンツの充実 ・新着情報	146
第 2 4 回 相楽の文化を 創るつどい	第 1 回実行委員会 1 0 月 3 1 日 リハーサル 2 月 1 1 日 第 2 回実行委員会 1 1 月 2 5 日 本 番 2 月 1 2 日 第 3 回実行委員会 1 2 月 2 2 日 反 省 会 3 月 1 7 日 ○日 時：平成 2 9 年 2 月 1 2 日（日）1 1：3 0～1 6：0 0 ○場 所：精華町立体育館・コミュニティーセンター「むくのきセンター」 ○出 演：第 1 部 消費生活講座 ・特定非営利活動法人 発起塾 シニアミュージカル劇団 ・相楽消費生活センター消費生活相談員 鳴尾嘉久 第 2 部 舞台発表 ・1 0 団体（8 8 人） ○来 場 者：約 1 6 0 人 ○事 業 費：202 千円（文化芸術振興・発信事業補助金 92 千円） ○主 催：第 2 4 回相楽の文化を創るつどい実行委員会・京都府 ○協 賛：K C N 京都 ○後 援：相楽郡広域事務組合・京都新聞	0
積 立 金	ふるさと市町村圏振興事業基金積立	7, 255
衛 生 費	休日応急診療費	15, 356
合 計		22, 757

第24回相楽の文化を創るつどい開催結果報告

日 時：平成29年2月12日（日）11：30～16：00
場 所：精華町立体育館・コミュニティーセンター「むくのきセンター」
出 演：第1部 消費生活講座
・特定非営利活動法人 発起塾 シニアミュージカル劇団
・相楽消費生活センター消費生活相談員 鳴尾嘉久
第2部 舞台発表
・10団体（88人）
来場者：約160人
主 催：第24回相楽の文化を創るつどい実行委員会・京都府
協 賛：KCN京都
後 援：相楽郡広域事務組合・京都新聞



主催者挨拶：山田実行委員長（グリーングラス）



来賓挨拶：木村代表理事（精華町長）



特定非営利活動法人 発起塾 シニアミュージカル劇団



相楽消費生活センター消費生活相談員 鳴尾嘉久 氏



①邦楽アンサンブル「かもん」



②日本舞踊・新舞踊 まる美



③ グリーングラス



④ アンサンブル・フローラ



⑤ 関西吟詩文化協会加茂教室



⑥ 加茂太極拳愛好会



⑦ 木津川市山城町生涯学習大正琴サークル



⑧ 日本舞踊 園生流船の会



⑨ 精華町フォークダンスサークル



⑩ 朗読いずみ



⑪ 全員合唱



まゆまる（京都府）、どんちゃん（精華町社会福祉協議会）出演

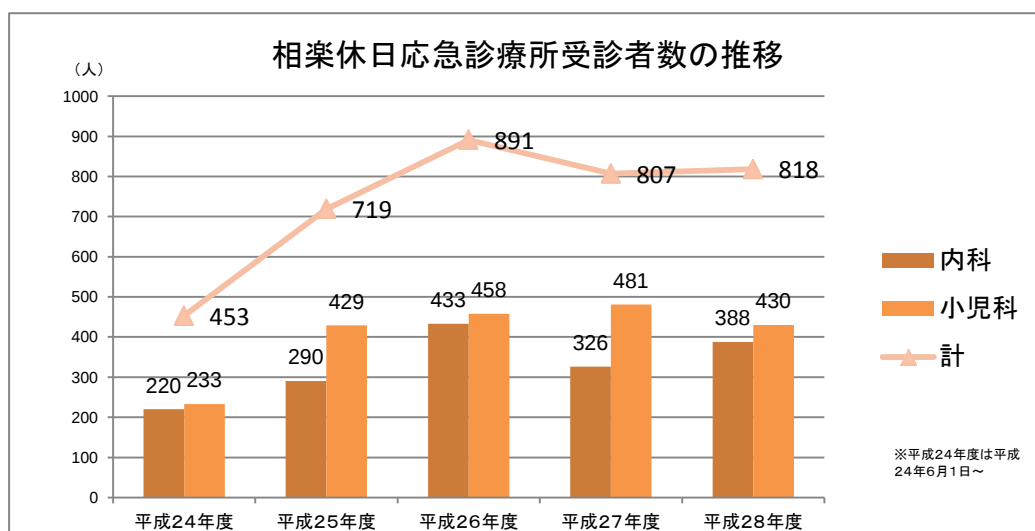
平成28年度 各種団体実績報告

月日	事業名	主催団体名	対応状況
6/9	相楽地方学校保健会総会	相楽地方地方学校保健会	欠席 メッセージ
6/11	平成28年度相楽地方PTA連絡協議会総会	相楽地方PTA連絡協議会	木村代表理事出席
6/8	第66回社会を明るくする運動相楽地区推進委員会	第66回社会を明るくする運動相楽地区推進委員会	木村代表理事出席 (事務局出席)
6/10	平成28年度木津川を美しくする会総会	木津川を美しくする会	欠席
6/25	第66回社会を明るくする運動相楽地区大会	第66回社会を明るくする運動相楽地区推進委員会	木村代表理事出席 (事務局出席)
7/3	第33回広域事務組合旗・杯争奪少年軟式野球大会	相楽少年軟式野球連盟	杉岡議会議長出席
6/28 ～7/3	第20回Ⅰ期そうび展	相楽美術協会	後援
9/4	第26回相楽合唱祭	相楽合唱連盟	後援
11/5	平成28年度相楽地方PTA研究大会	相楽地方PTA連絡協議会	木村代表理事出席、 後援
11/30	第44回ふるさとの水と緑を守るつどい	木津川を美しくする会	事務局長出席、 後援、賞状
1/5～11	第20回Ⅱ期そうび展	相楽美術協会	後援
1/26	相楽地方学校保健研究大会	相楽地方地方学校保健会	欠席、後援 メッセージ
2/12	第24回相楽の文化を創るつどい	第24回相楽の文化を創るつどい実行委員会・京都府	木村代表理事挨拶、 後援（事務局出席）

相楽休日応急診療所受診者数の推移

(単位：人、%)

市町村名		年度		平成24年度 (6月～)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	合 計	割 合
木津川市				300	497	566	552	523	2,438	66.1
笠 置 町				7	11	7	2	2	29	0.8
和 束 町				22	21	16	19	25	103	2.8
精 華 町				106	164	244	191	233	938	25.4
南山城村				3	3	16	9	5	36	1.0
そ の 他				15	23	42	34	30	144	3.9
合 計				453	719	891	807	818	3,688	100.0
内 科	比率			220	290	433	326	388	1,657	44.9
小児科				233	429	458	481	430	2,031	55.1



平成28年度相楽休日応急診療所受診状況表(総括)

単位：人、％

年月 市町村名		H28. 4		H28. 5		H28. 6		H28. 7		H28. 8		H28. 9		H28. 10		H28. 11		H28. 12		H29. 1		H29. 2		H29. 3		合 計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
木津川市		37	68.5	47	67.2	19	59.4	27	71.1	23	60.5	37	71.2	27	65.9	31	64.6	63	70.0	100	55.9	79	67.0	33	56.9	523	63.9
笠 置 町		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.8	0	0.0	2	0.2
和 東 町		1	1.9	1	1.4	3	9.4	0	0.0	0	0.0	1	1.9	0	0.0	0	0.0	5	5.6	9	5.0	3	2.5	2	3.4	25	3.1
精 華 町		14	25.9	18	25.7	9	28.1	10	26.3	12	31.6	12	23.1	10	24.4	16	33.3	16	17.8	63	35.2	30	25.4	23	39.7	233	28.5
南山城村		0	0.0	0	0.0	1	3.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.1	0	0.0	3	2.5	0	0.0	5	0.6
小 計		52	96.3	66	94.3	32	100.0	37	97.4	35	92.1	50	96.2	38	92.7	47	97.9	85	94.5	172	96.1	116	98.2	58	100.0	788	96.3
京都府内		0	0.0	1	1.4	0	0.0	1	2.6	1	2.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.1	1	0.9	0	0.0	6	0.7
奈良県内		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	7.3	0	0.0	1	1.1	0	0.0	1	0.9	0	0.0	5	0.6
三重県内		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
そ の 他		2	3.7	3	4.3	0	0.0	0	0.0	2	5.3	2	3.8	0	0.0	1	2.1	4	4.4	5	2.8	0	0.0	0	0.0	19	2.4
小 計		2	3.7	4	5.7	0	0.0	1	2.6	3	7.9	2	3.8	3	7.3	1	2.1	5	5.5	7	3.9	2	1.8	0	0.0	30	3.7
合 計		54	100.0	70	100.0	32	100.0	38	100.0	38	100.0	52	100.0	41	100.0	48	100.0	90	100.0	179	100.0	118	100.0	58	100.0	818	100.0
内 科	比率	11	20.4	51	72.9	15	46.9	13	34.2	15	39.5	24	46.2	17	41.5	16	33.3	47	52.2	88	49.2	60	50.8	31	53.4	388	47.4
小児科		43	79.6	19	27.1	17	53.1	25	65.8	23	60.5	28	53.8	24	58.5	32	66.6	43	47.8	91	50.8	58	49.2	27	46.6	430	52.6

診療日数	5 日	8 日	4 日	6 日	5 日	6 日	6 日	6 日	6 日	8 日	5 日	5 日	70 日
1 日当たりの 受診者数	10.8 人	8.8 人	8.0 人	6.3 人	7.6 人	8.7 人	6.8 人	8.0 人	15.0 人	22.4 人	23.6 人	11.6 人	11.7 人

平成28年度相楽休日応急診療所受診状況表(内科)

単位：人、％

年月 市町村名	H28. 4		H28. 5		H28. 6		H28. 7		H28. 8		H28. 9		H28. 10		H28. 11		H28. 12		H29. 1		H29. 2		H29. 3		合 計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
木津川市	7	63.6	34	66.6	7	46.7	11	84.6	9	60.0	18	75.0	10	58.9	10	62.5	33	70.2	47	53.3	38	63.2	16	51.6	240	61.9
笠 置 町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
和 束 町	0	0.0	1	2.0	3	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	5.7	1	1.7	1	3.2	11	2.8
精 華 町	4	36.4	12	23.5	5	33.3	2	15.4	5	33.3	6	25.0	4	23.5	5	31.3	11	23.4	32	36.4	17	28.4	14	45.2	117	30.2
南山城村	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	3.3	0	0.0	2	0.5
小 計	11	100.0	47	92.1	15	100.0	13	100.0	14	93.3	24	99.9	14	82.4	15	93.8	44	93.6	84	95.4	58	96.6	31	100.0	370	95.4
京都府内	0	0.0	1	2.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	2.3	1	1.7	0	0.0	4	1.0
奈良県内	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	17.6	0	0.0	1	2.1	0	0.0	1	1.7	0	0.0	5	1.3
三重県内	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
そ の 他	0	0.0	3	5.9	0	0.0	0	0.0	1	6.7	0	0.0	0	0.0	1	6.2	2	4.3	2	2.3	0	0.0	0	0.0	9	2.3
小 計	0	0.0	4	7.9	0	0.0	0	0.0	1	6.7	0	0.0	3	17.6	1	6.2	3	6.4	4	4.6	2	3.4	0	0.0	18	4.6
合 計	11	100.0	51	100.0	15	100.0	13	100.0	15	100.0	24	100.0	17	100.0	16	100.0	47	100.0	88	100.0	60	100.0	31	100.0	388	100.0

平成28年度相楽休日応急診療所受診状況表(小児科)

単位：人、％

年月 市町村名	H28. 4		H28. 5		H28. 6		H28. 7		H28. 8		H28. 9		H28. 10		H28. 11		H28. 12		H29. 1		H29. 2		H29. 3		合 計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
木津川市	30	69.7	13	68.4	12	70.6	16	64.0	14	61.0	19	67.9	17	70.8	21	65.6	30	69.9	53	58.2	41	70.8	17	63.0	283	65.7
笠 置 町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.7	0	0.0	2	0.5
和 束 町	1	2.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.6	0	0.0	0	0.0	5	11.5	4	4.4	2	3.4	1	3.7	14	3.3
精 華 町	10	23.3	6	31.6	4	23.5	8	32.0	7	30.4	6	21.4	6	25.0	11	34.4	5	11.5	31	34.0	13	22.4	9	33.3	116	27.0
南山城村	0	0.0	0	0.0	1	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.4	0	0.0	1	1.7	0	0.0	3	0.7
小 計	41	95.3	19	100.0	17	100.0	24	96.0	21	91.4	26	92.9	24	100.0	32	100.0	41	95.3	88	96.6	58	100.0	27	100.0	418	97.2
京都府内	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.0	1	4.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.5
奈良県内	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
三重県内	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
そ の 他	2	4.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.3	2	7.1	0	0.0	0	0.0	2	4.7	3	3.4	0	0.0	0	0.0	10	2.3
小 計	2	4.7	0	0.0	0	0.0	1	4.0	2	8.6	2	7.1	0	0.0	0	0.0	2	4.7	3	3.4	0	0.0	0	0.0	12	2.8
合 計	43	100.0	19	100.0	17	100.0	25	100.0	23	100.0	28	100.0	24	100.0	32	100.0	43	100.0	91	100.0	58	100.0	27	100.0	430	100.0

相楽休日応急診療所 業務報告書

診療年月
平成28年4月 ～平成29年3月

1 診療状況

患 者	患 者 数	818	100%	11.7 人/日
科 目	内 科	388	47%	
	小児科	430	53%	
性 別	男	405	50%	
	女	413	50%	
年 齢	0 ～ 9	318	39%	
	1 0 ～ 1 9	140	17%	
	2 0 ～ 3 9	152	19%	
	4 0 ～ 4 9	95	12%	
	5 0 ～ 6 9	77	9%	
	7 0 ～	36	4%	
時 間 帯	9 ～ 1 0	324	40%	
	1 0 ～ 1 1	199	24%	
	1 1 ～ 1 2	180	22%	
	1 2 ～ 1 3	115	14%	
市 町 村	木津川市	523	64%	
	笠 置 町	2	0%	
	和 束 町	25	3%	
	精 華 町	233	28%	
	南山城村	5	1%	
	そ の 他	30	4%	
二次転送	京都山城総合医療センター	7	1%	
	そ の 他	0	0%	

2 電話受付人数 986 人（内、受診者 663 人）

平成28年度 相楽休日応急診療所疾患別患者数

項目 月	診療 日数	呼吸器 感染症	呼吸器 疾 患	消化器 感染症	消化器 疾 患	循環器 疾 患	皮膚科	外傷	泌尿器	伝染性 ウイルス	その他	合 計
4 月	5	22	1	4	0	0	4	0	0	20	3	54
5 月	8	41	3	11	0	1	7	0	2	3	2	70
6 月	4	18	1	6	0	1	2	1	0	2	1	32
7 月	6	20	0	8	1	0	5	0	0	2	2	38
8 月	5	21	0	6	0	1	4	0	0	3	3	38
9 月	6	28	2	4	2	0	4	1	3	8	0	52
10 月	6	26	0	4	1	0	5	0	3	0	2	41
11 月	6	18	0	18	0	0	2	0	1	9	0	48
12 月	6	47	1	20	1	0	0	0	2	18	1	90
1 月	8	63	0	10	0	0	5	0	1	98	2	179
2 月	5	43	1	6	0	0	0	0	1	67	0	118
3 月	5	26	0	10	0	0	0	0	2	17	3	58
合計	70	373	9	107	5	3	38	2	15	247	19	818
割合	—	45.7%	1.1%	13.1%	0.6%	0.4%	4.6%	0.2%	1.8%	30.2%	2.3%	100.0%

病気の内容	かぜ 気管支炎	喘息	胃腸炎 腸炎	胃潰瘍	高血圧症 不整脈	蕁麻疹 皮膚炎	切創 挫創	膀胱炎 尿管結石	インフルエンザ [※] 水痘	中耳炎 筋肉痛
-------	------------	----	-----------	-----	-------------	------------	----------	-------------	----------------------------	------------

相楽休日応急診療所電話受付分析結果
(平成28年4月～平成29年3月)

◎受診者数 818 人（うち二次転送7人（内科6人（うち入院1人）、小児科1人（うち入院0人））
◎電話受付数 986 人

＜内 訳＞

		人 数	割 合(%)	備 考
電話 受付 結果	1 受 診	663	66%	事前問い合わせ率（電話受付受診者数÷受診者数） 81.1%
	2 未 受 診	64	6%	
	3 他機関紹介	272	27%	
	4 問い合わせ	14	1%	
	5 不 明	0	0%	
合 計		1,013	100%	

※電話受付結果の合計と電話受付数の差異は、1件の電話で複数人が受診したためです。

＜2 未受診の内訳＞

		人 数	割 合(%)	備 考
1	連絡なし	32	50%	
2	他機関受診	12	19%	
3	その他	20	31%	
合 計		64	100%	

＜3 他機関紹介の内訳＞

理 由			紹 介 先		京都山城総合 医療センター	学研都市病院	消防本部 (病院紹介)	その他・不明	小 計
1	年齢によるもの	小児科	114	13	1	0	128		
		内科	32	0	0	0	32		
2	設備等によるもの	点滴	10	0	0	0	10		
		検査	23	0	1	0	24		
		注射	0	0	0	0	0		
3	受診科目によるもの	眼科	0	0	3	5	8		
		耳鼻咽喉科	0	0	5	1	6		
		外科	10	0	12	0	22		
		整形外科	3	1	4	1	9		
		歯科	0	0	4	0	4		
		皮膚科	2	1	0	0	3		
		泌尿科	2	0	0	0	2		
4	症状等によるもの（救急、重篤等）	血便	1	0	0	0	1		
		虫刺され(ムカデ)	2	0	0	0	2		
		婦人科出血	1	0	0	0	1		
		鼻血ふきでる	1	0	2	0	3		
		貧血症状	1	0	0	0	1		
		足をかまれる（何か不明）	0	0	1	0	1		
		めまい、ふらつき動けない	1	0	0	0	1		
		喘息発作	2	0	0	0	2		
		40℃熱75歳立てない	1	0	0	0	1		
		頻脈全身倦怠感83歳	1	0	0	0	1		
		何かを飲み込んだ1歳児	0	0	1	0	1		
		嘔吐が続く	3	0	0	0	3		
		血が混ざった乳を吐く1歳児	1	0	0	0	1		
5	その他	5	0	0	0	5			
合 計			216	15	34	7	272		

※その他は、受付時間外等

SOURAKU



人と文化の交差点